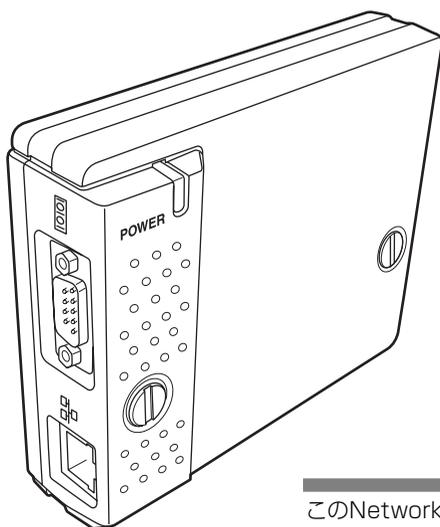


Network

L C D P r o j e c t o r



Network Imager

品番 LV-NI01

第1章 はじめに

第2章 セットアップ

第3章 基本設定・操作

第4章 プロジェクターの管理

第5章 ネットワークビューワ&キャプチャー

第6章 複数のプロジェクターの管理

第7章 シリアルポートの使用

第8章 付録

このNetwork Imagerはプロジェクターのネットワークオプション製品です。この製品をプロジェクターへ装着しネットワークケーブルを接続します。ネットワークを介し、ファイルサーバーに保管している画像データや、専用のユーティリティをインストールしたコンピュータの表示画面をプロジェクターで投射することができます。さらに、Webブラウザを使用してプロジェクターの操作や設定を遠隔操作で行うことができます。

本製品はNetwork Imager接続端子を持つ当社プロジェクターでのみご使用になれます。専用の接続端子を持たない指定外のプロジェクターではご使用になれません。

この使用説明書はNetwork Imagerの取り付け方と操作方法を記載しています。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この使用説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左の絵表示は感電注意を意味します。)



分解禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左の絵表示は分解禁止を意味します。)



電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)



警告

- 本製品を取り付け、使用する際は、必ずコンピュータメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。



警告

- 本製品の取り付け/取り外しをするときはコンピュータ、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグをACコンセントから抜いてください。
電源プラグがコンセントに接続されたまま取り付け/取り外しを行うと、感電および故障の原因になります。



警告

- 本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。



分解禁止

- 煙が出たり変な臭いや音がしたら、プロジェクターおよび周辺機器の電源スイッチを切り、ACコンセントから電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。



電源プラグを
コンセントから抜け

- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因になります。



電源プラグを
コンセントから抜け

- 本製品に付属するディスクは「CD-ROM」です。一般オーディオ用CDプレーヤーでは絶対に再生しないでください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。



警告



注 意

濡れた手で本製品に触れないでください。
コンピュータおよび周辺機器の電源プラグがACコンセントに接続
されているときは、感電の原因になることがあります。



禁 止



ネットワークで使用する場合の安全上の注意

- プロジェクターより異常・警告メールを受信した場合、速やかにプロジェクターの点検を行ってください。異常のまま使用すると火災や事故の原因となる場合があります。
- ネットワークを利用し、プロジェクターを遠隔地に設置してご使用になるとき、定期的にプロジェクターの安全点検を行ってください。プロジェクターを遠隔地に設置する場合、設置する使用環境の変化について十分注意を払わなければなりません。設置した環境によっては、火災や事故の原因となります。

本製品使用上の注意

本製品の使用で生じるデータの破損・紛失、コンピュータの不具合など、コンピュータに生じる損害などについては一切当社では責任を負いません。

もくじ

第1章 はじめに	7
特長	8
動作環境	11
ご使用の前に	12
第2章 セットアップ	15
セットアップの流れ	16
各部の名称とはたらき	17
設置とネットワークの設定	18
本製品の取り付け	18
LANケーブルの接続	19
ネットワークの設定	20
パスワードの設定	22
システム構成での注意	23
ソフトウェアのインストール	24
Network Viewer & Captureのインストール	24
インストールされるソフトウェア	25
File Converter 2のインストール	26
インストールされるソフトウェアと場所	26
第3章 基本操作・設定	27
プロジェクターの設定画面にログインする	28
1 IPアドレスを入力する	28
2 表示モードを選択しログインする	28
3 メイン設定画面の表示	29
初期設定をする	31
1 言語を設定する	31
2 パスワードを設定する	32
3 温度単位を設定する	32
4 日付・時刻を設定する	33
ネットワークの設定をする	34
1 ネットワークを設定する	34
2 プロジェクター名を設定する	34
E-mailの設定をする	35
警告メールの種類と内容 [例]	37
第4章 プロジェクターの管理	39
プロジェクターの電源を入れる／切る	40
プロジェクターの状態を確認する	41
プロジェクターをコントロールする	42
入力	43
PC調整	44
システム調整	46
イメージ調整	47
スクリーン	49
音声	49
セッティング	50
タイマー設定のしかた	52
タイマーの確認をする	53

タイマー設定を解除する	54
サービス	55
保存	56
保存項目の確認	57
プロジェクターのメニューを操作する	59
メモをつける	60
第5章 ネットワークビューワー&キャプチャー	61
ネットワークキャプチャー機能を使う	62
Network Capture の起動	62
パラメータを設定する	62
[1] コンピュータから操作する	63
[2] Web ブラウザから操作する	64
コンピュータの登録	65
[3] プロジェクターから操作する	65
高度な使用例	66
投映可能な画像データを作成する [File Converter]	67
[1] Network Viewer (File Converter 1) の使用方法	67
変換の手順	68
[2] Network Viewer (File Converter 2) の使用方法	70
変換の手順	70
プログラムファイルを作成する [Program Editor]	71
プログラム作成手順	71
ネットワークビューワー機能を使う	74
[1] Web ブラウザから操作する	74
[2] プロジェクターから操作する	79
第6章 複数のプロジェクターの管理	81
マルチ制御	82
IPアドレス・プロジェクター名の登録	83
IPアドレス・プロジェクター名の確認	83
マルチ制御の対象から除外・追加・削除する	84
制御	85
設定値の読み出しと適用	85
複数のプロジェクターを同時にコントロールする	86
第7章 シリアルポートの使用	87
シリアルポートの設定を行う	88
コントロール例	90
TELNETを使う	92
TELNET でプロジェクターをコントロールする	94
第8章 付録	95
接続例	96
Web ブラウザの設定	98
OS/ブラウザ個別設定例	99
製品仕様	103
ポート仕様	104
Q&A	105
保証とアフターサービス	114

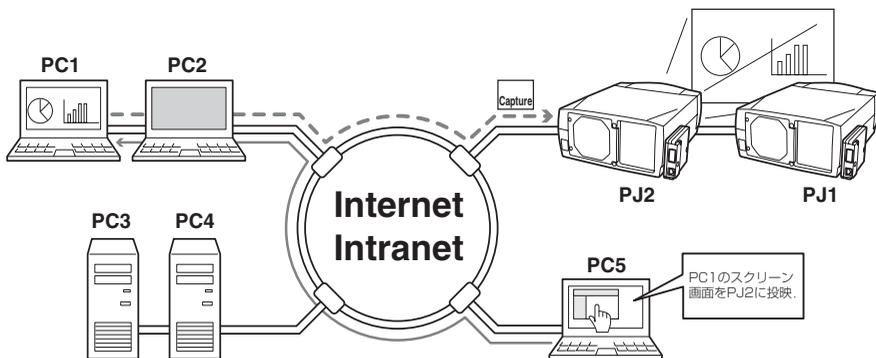
第1章 はじめに

1

特長

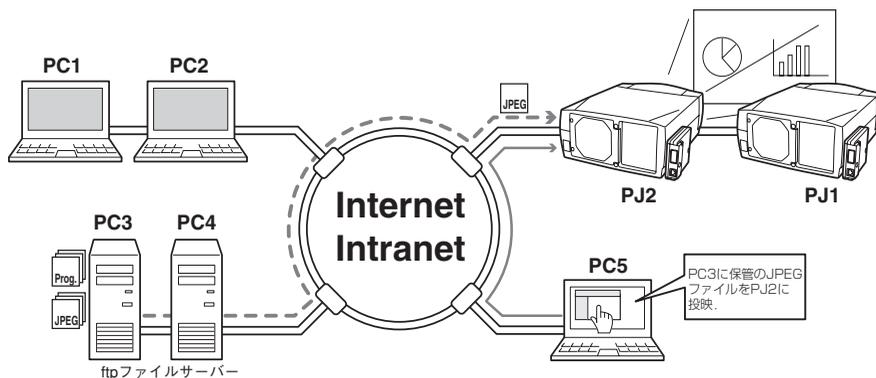
ネットワークキャプチャー機能

専用のユーティリティソフトウェアがインストールされたコンピュータのスクリーン画面をネットワークを介してプロジェクターで投映する機能です。



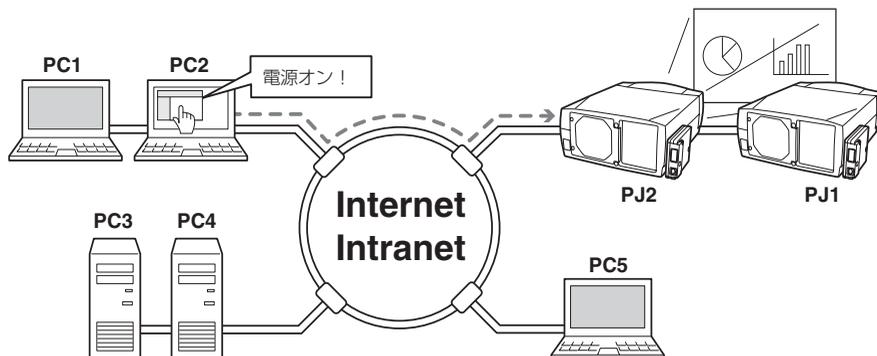
ネットワークビューワー機能

ネットワーク上のファイルサーバーに保管されている画像データを取得し、プロジェクターで自動投映する機能です。



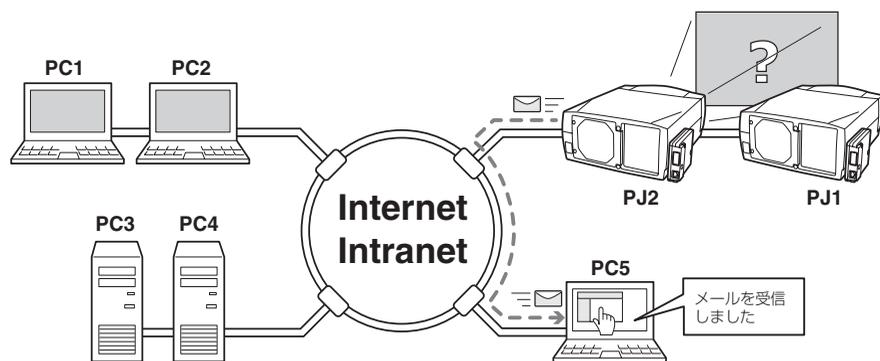
Webマネージメント機能

プロジェクターの状態確認や電源コントロールなどの操作、設定を、Webブラウザを使用してコンピュータから遠隔管理することができます。



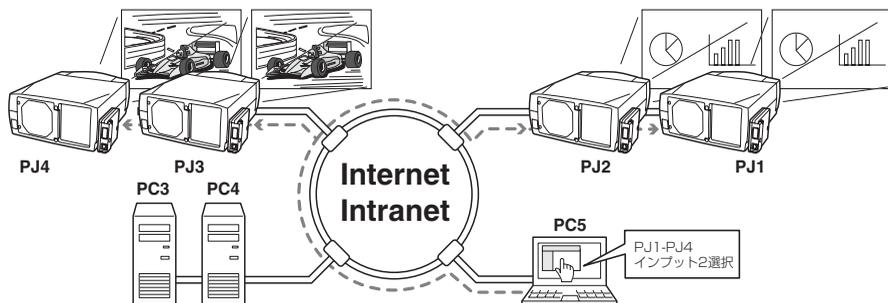
電子メールによる各種警告通知機能

プロジェクターにランプ点灯異常や、電源異常が発生したときになどに、指定されたアドレスに電子メールを自動的に送信します。メッセージには異常発生の原因などのアドバイスが記載されます。復帰までの迅速な対応が可能です。



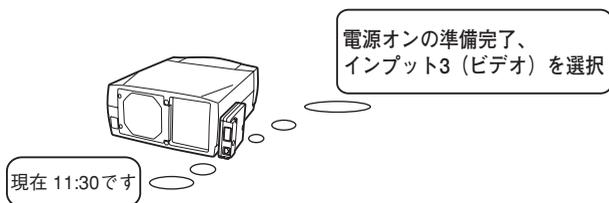
マルチコントロール機能

複数台のプロジェクターを一括してコントロールすることができます。
複数のプロジェクターで同じ画面を投射することができます。



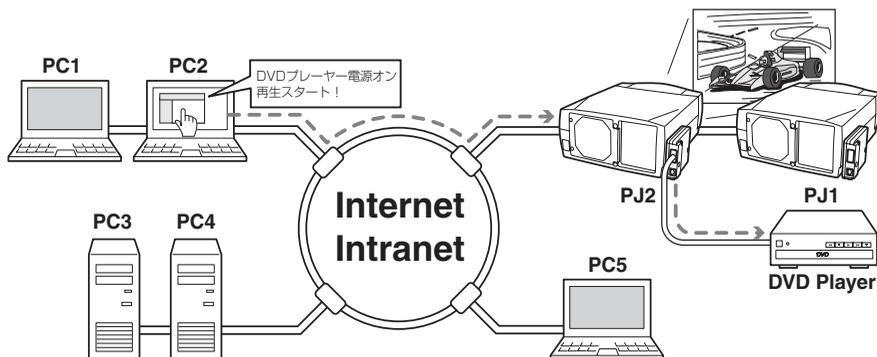
タイマー機能による自動ON/OFF機能

設定した日時、或いは曜日の時刻、にプロジェクターの自動起動、終了をおこないます。



ネットワークを介しての外部機器の制御ポートの用意

本製品は外部機器を制御するシリアルポート(RS-232C)を備えています。このポートにシリアルポートを持つ機器を接続することで、ネットワークを介してこれらの機器をコンピュータから操作することが可能です。*外部機器を操作するためのインターフェースドライバは本製品には含まれていません。



動作環境

本製品を使用してプロジェクターの制御や管理を行うには、以下のコンピュータ、ネットワーク環境、及びアプリケーションソフトウェアが必要です。

ネットワーク環境

イーサネットが正常に動作し、TCP/IP、FTP プロトコルが利用できること

オペレーティングシステム

Windows 98 / Windows 2000 / Windows Me / Windows NT4.0 SP6 / Windows XP

コンピュータ環境

推奨 CPU	Pentium III 900MHz 相当以上
メモリ	最低 64MB以上／推奨 128MB 以上 (WindowsXPは128MB 以上)
ハードディスクの空き容量	100MB 以上
ドライブ装置	CD-ROM ドライブ装置を備えていること
コンピュータの画面設定	VGA (640 x 480)、SVGA(800 x 600)、XGA(1,024 x 768) のうち1つ以上の解像度をサポートしていること。 色数は16ビット(65,536色)、24/32ビット(1,677万色)のいずれかであること。
ネットワークカード	10Base-T または 100Base-TX のネットワークカードを備えていること

Web ブラウザ*

- ・ Internet Explorer バージョン 5.0、5.5 または 6.0
- ・ Netscape Navigator バージョン 6.1、6.2 または 7.0

* プロジェクターの各種設定・操作を行うときに使用します。ご使用するブラウザのバージョンやOS等によっては画面表示のレイアウトが異なる場合があります。

インターネット メーラー*

- ・ Microsoft Outlook
- ・ Microsoft OutlookExpress
- ・ Netscape Mail

*本製品から送信される警告メッセージを受信するために、インターネットメーラーアプリケーションが必要です。推奨するメーラーは上記の通りです。これ以外のメーラーを使用する場合には、希に文字化けを起こすことがあります。E-mail機能を使用しない場合には、必要ありません。

ftp サービス*

- ・ ftp サーバー (Windows 2000 Professional または Windows XP Professional)
- * ネットワークビューワー機能を使用する場合には、Windows 2000 Professional または Windows XP Professional が標準で備える ftp サービスが利用できること

本製品とハブ／コンピュータを接続する場合の制限事項*1

使用するケーブルの種類と長さには、次の制限があります。

接続	使用するケーブルの種類	最長距離
本製品～ハブ間	カテゴリ*2 3 または 5 対応のUTPストレートケーブル	100m
本製品～コンピュータ間	カテゴリ*2 3 または 5 対応のUTPクロスケーブル	100m

*1 使用するネットワーク環境によっても、LAN規格上の制限があります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

*2 ケーブルのカテゴリとは、ケーブルの品質を表すものです。通常、10Base-Tではカテゴリ3、またはカテゴリ5、100Base-TXではカテゴリ5のケーブルを使用します。

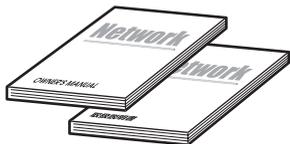
ご使用前に

梱包物の確認

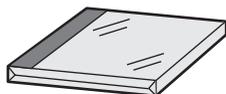
梱包物を確認します。本製品には、以下のものが入っています。必ず開梱時に内容を確認してください。万一、不足するものがありましたら、お買い求め販売店までご連絡ください。



ネットワークユニット（本体） 1 個



使用説明書（本書）英語版／日本語版 各1冊



CD-ROM 1 枚



保証書

表記／略称について

本書ではNetwork Imager (LV-NI01) を本製品、または、ネットワークユニットと表記している場合があります。また、特に説明のないかぎり、本文中でのプロジェクターとは本製品を取り付けたプロジェクターのことを表します。

本書で説明に利用したコンピュータのOS は WindowsXP Professional、Webブラウザは Internet Explorer 6.0 です。これ以外の環境では、説明の手順が異なる場合があります。

本書の対象について

本書はコンピュータの操作、Webブラウザの操作、プロジェクターの操作、及び、ネットワークに関する基本的な操作および内容は記載していません。個々の機器、或いは、アプリケーションの操作方法については当該製品の使用説明書をご覧ください。

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取扱をしてください。

商標について

Ethernet は Xerox 社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation 社の米国及び、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。Netscape Navigator、Netscape Communicator は、Netscape Communications Corporation 社の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。JavaScript は Sun Microsystems, Inc.社の登録商標です。説明書に記載の会社名、及び製品名は各国の登録商標または商標です。

* 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することは禁じられています。

* 本書に記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

2

第2章 セットアップ

セットアップの流れ

本製品をプロジェクターに取り付け、ネットワークの設定を行い、ソフトウェアをインストールする方法を [1]～[3] で説明します。全体の流れを理解してください。

1 各部の名称とはたらき (☞ p.17)

ネットワークユニットのポート名及び機能について説明します。

2 設置とネットワークの設定 (☞ p.18-23)

- 1 プロジェクターに本製品を取り付けます。
- 2 LANケーブルを接続し、ネットワークと接続します。
- 3 ネットワークユニットのネットワークを設定します。
- 4 パスワードを設定します。

3 ソフトウェアのインストール (☞ p.24-26)

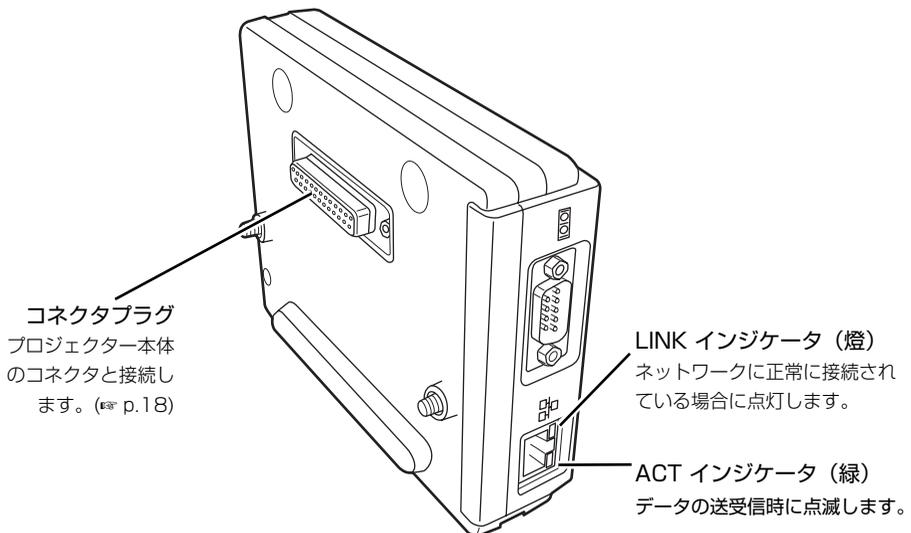
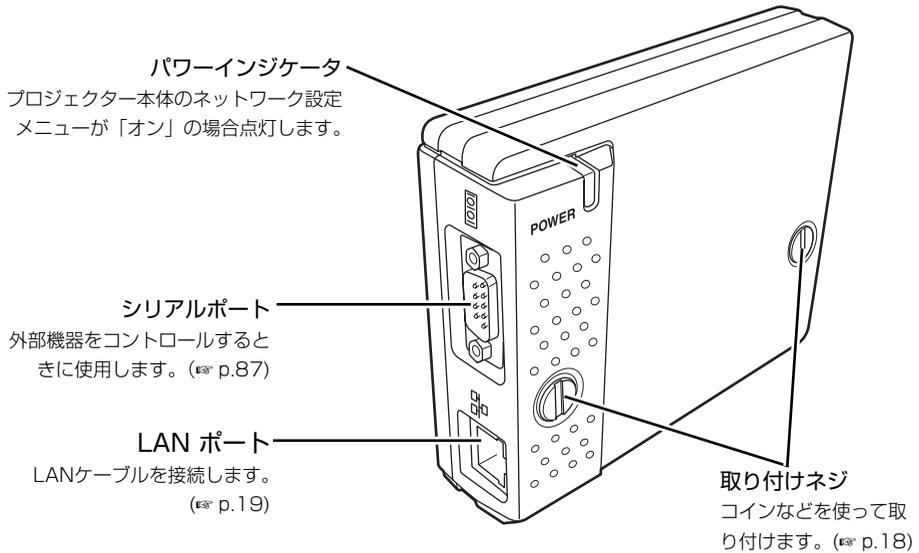
Network Viewer & Network Capture のインストール方法を説明します。

セットアップの完了

ネットワークに接続されたプロジェクターをコントロールする準備が完了しました。次に、コンピュータにインストールされたWebブラウザを使用してプロジェクターの設定や操作を行います。

「第3章 基本操作・設定」編をご覧ください。(☞ p.27)

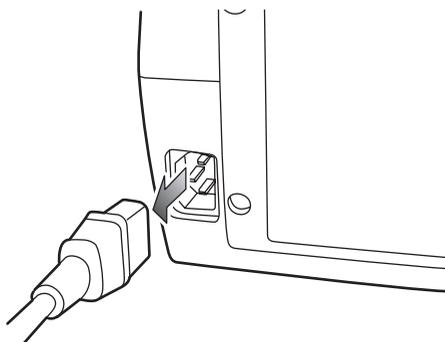
1 各部の名称とはたらき



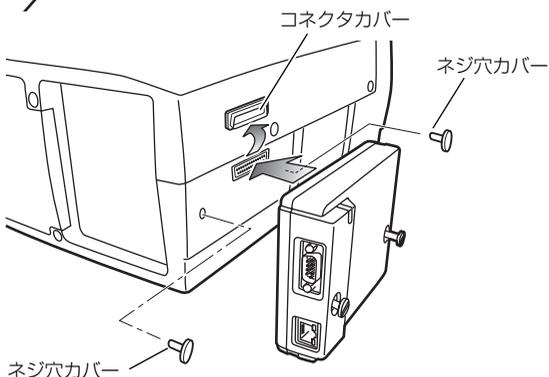
2 設置とネットワークの設定

本製品の取り付け

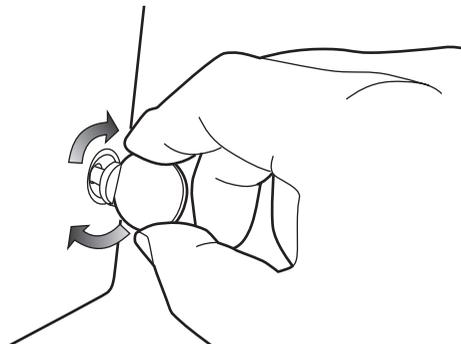
- 1 プロジェクターから電源コードを抜く。



- 2 プロジェクター本体からコネクタカバー、ネジ穴カバー（2個）を外し、本製品をオプションコネクタに差し込む。



- 3 ネジ（2カ所）をコイン等を使って締める。



⚠ 注意

- 本製品の取り付けは必ずプロジェクターの電源コードを抜いて行ってください。電源コードを接続したままで、取り付け、取り外しは行わないでください。故障の原因になります。
- プロジェクターの電源コードは、LANケーブルやコンピュータを接続した後に接続してください。

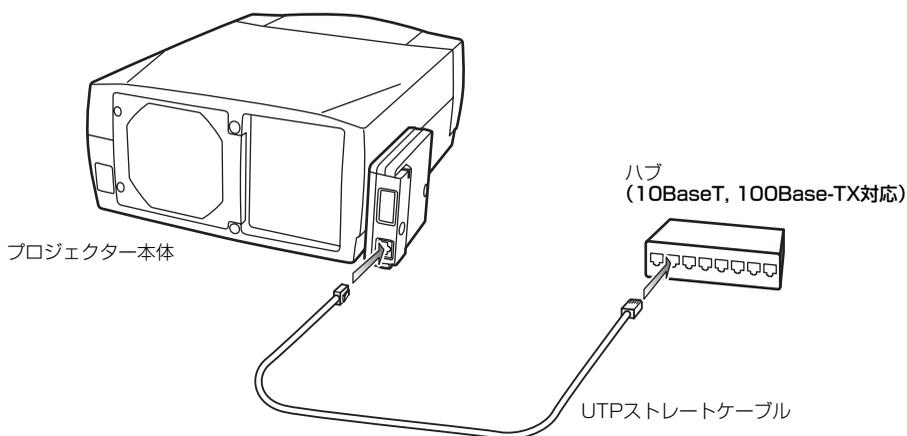
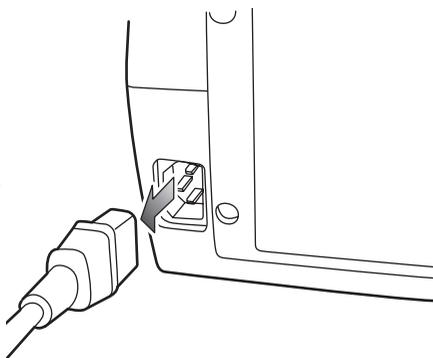
LANケーブルの接続

ネットワークに接続するには、RJ-45コネクタの付いたUTP (Unshielded Twisted Pair) ストレートケーブルが必要です。ケーブルの種類は、接続するネットワークが10Base-T または100Base-TXのいずれであるかによって異なります。また、必要であれば、ケーブルを分配するハブ (10base-T、または100Base-TX対応品) を用意します。

1 プロジェクターから電源コードを抜く。

2 UTPストレートケーブルをネットワークボックスのコネクタに差し込む。

3 UTPストレートケーブルをハブに接続する。



ご注意

- ☞ ハブを使用しないで直接プロジェクターとコンピュータを接続する場合には、UTPクロスケーブルを使用します。
- ☞ 10Base-Tのネットワークに接続するときには、カテゴリ3または5のケーブルを使用します。
100Base-TXのネットワークに接続するときには、カテゴリ5のケーブルを使用します。
- ☞ ハブからプロジェクターまでのケーブルは100m以下で使用します。

ネットワークの設定

ネットワークメニューの確認

本製品をプロジェクターに取り付けると、自動的にネットワークメニュー項目が利用可能になります。利用できない場合には、取り付けが正常に行われていない可能性があります。本製品の取り付け(※ p.18)」を確認してください。

ネットワークの設定

プロジェクターをネットワークに接続して使用する場合はプロジェクターのネットワークアドレスは、接続するネットワークグループと同じでなければなりません。まず、プロジェクターのネットワークアドレスを設定します。

例えば次の設定を行う場合について説明します。

IP Address	: 192.168.1.201
Subnet Mask	: 255.255.255.0
Default Gateway	: 192.168.1.1
DNS	: 0.0.0.0



工場出荷状態のネットワークユニットは以下のように設定されています。

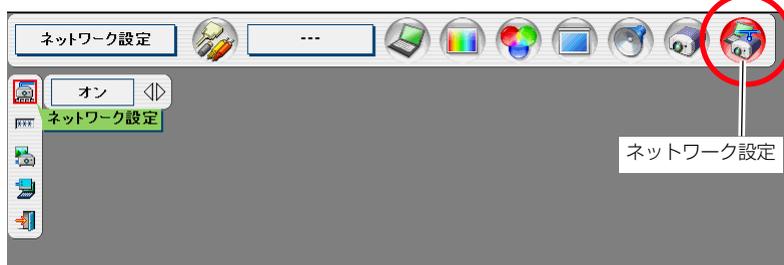
IP Address	: 192.168.0.2
Subnet Mask	: 255.255.255.0
Default Gateway	: 0.0.0.0
DNS	: 0.0.0.0



1 ネットワークメニューの選択

プロジェクターを起動し、画面を投射します。ポイントボタン(▼▲◀▶)を使用して、メニュー項目の「ネットワーク設定」のアイコンを選択します。サブメニューより、「ネットワーク設定」のサブアイコンを選択し、「SET」ボタンを1回押します。モードが「オン」に設定されていることを確認します。

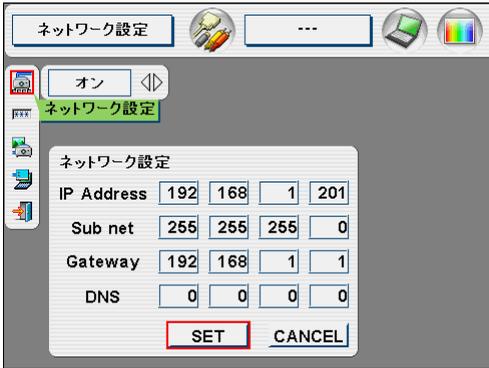
* 「オフ」の場合には、ポイントボタン「◀▶」を押して「オン」に変更します。



* ご使用になるプロジェクターの機能によっては表示されるメニュー項目が異なります。

2 IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ*/DNS*の設定

「SET」ボタンを再度押します、下のようなネットワーク設定画面がスクリーン上に表示されます。指定されたネットワークアドレスを入力します。



数値の入力のしかた

本機はIPアドレス等の入力に、リモコンまたはプロジェクター本体のポイントボタン（▼▲◀▶）を使用する方法と、直接数字入力ができるスクリーン10キーパレットを使用する方法を用意しています。詳細は23ページをご覧ください。

3 ネットワークユニットの再起動

ポイントボタン（◀▶）を押し、[SET]を選択し、「SET」ボタンを押します。ネットワーク設定画面が消え、ネットワークユニットが再起動を始めます。この間約40秒ほどかかります。この期間にプロジェクターの主電源を切らないでください。

ネットワーク設定の完了

ネットワーク設定の完了です。プロジェクターのIPアドレスは（192.168.1.201）に設定されました。

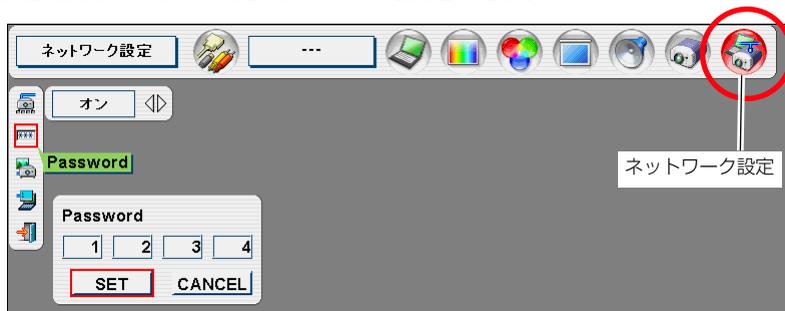
ご注意

*ゲートウェイ（ルータ）を使用しないネットワーク環境では、デフォルトゲートウェイは [0.0.0.0] にします。E-Mail機能やDNSサーバーを使用しない場合には、DNSの項目も[0.0.0.0] に設定します。

パスワードの設定

Webブラウザを通じてプロジェクターの設定ページへのアクセスを制限するためのパスワードを設定をすることができます。

* 初期設定ではパスワードなし (0000) に設定されています。



1. ポイントボタン (▼▲◀▶) を使用して、メニュー項目の「ネットワーク設定」のアイコンを選択します。
2. サブメニューより、「ネットワーク設定」のサブアイコンを選択し、「SET」ボタンを1回押します。モードが「オン」に設定されていることを確認します。
3. 次に、パスワード設定[Password]のサブアイコンを選択し、「SET」ボタンを1回押します。
* 設定ウインドウが表示されます。パスワード設定画面に表示される数字は、現在設定されているパスワードです。
4. 本体キーまたはリモコンのポイントボタンを操作して、任意のパスワードを入力し、[SET]を選択して「SET」ボタンを押します。
* パスワード設定画面が消え、ネットワークユニットが再起動を始めます。この間約40秒ほどかかります。この期間にプロジェクターの主電源を切らないでください。
* パスワードはスクリーン10キーパレットを使用して入力することも可能です。(☞ p.23)

ご注意

- ☞ プロジェクターをネットワークに接続する場合には、パスワードを設定することをお勧めします。パスワードの設定は、プロジェクター本体のメニューからも可能ですが、Webブラウザを使用した設定画面でも設定可能です。詳細は32ページの「初期設定/パスワードを設定する」をご覧ください。
- ☞ パスワードに使用できる文字は、4桁の半角数字です。「0000」はパスワードなしを設定します。
- ☞ このパスワードはプロジェクター本体の操作を制限するものではありません。このパスワードはネットワークを介してプロジェクターの状態確認・操作・設定を行うことに対してアクセス制限を設けるものです。

ポイントボタンによる数値入力の方法

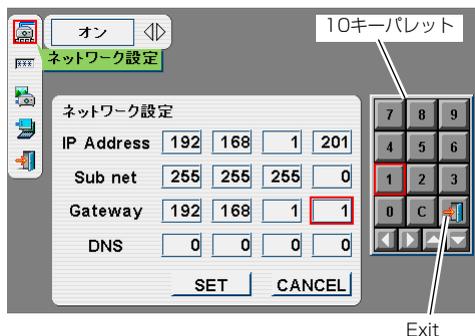
リモコンまたはプロジェクター本体のポイントボタン（▼▲◀▶）を使用して、選択項目の移動と値の変更を行います。

◀▶キーは選択項目の移動を行います

▼▲キーは値の変更を行います。

スクリーン10キーパレットによる数値入力の方法

1. ポイントボタン（◀▶）を使用して入力したいコラムを選択します。
2. 「SET」ボタンを押すと、スクリーン上に10キーパレットが表示されます。
3. ポイントボタン（▼▲◀▶）を使用して、0-9の数字を選択し、「SET」ボタンを押します。繰り返し、コラムの数字を入力します。
*コラム内の数字を変更する場合は、「C」を選択し、「SET」ボタンを押して数字をすべてクリアした後、再度入力し直します。
4. コラムの数字入力完了後、パレット下段の移動キー（▼▲◀▶）をポイントボタンを使用して選択し、「SET」ボタンを押して、次に入力するコラムへ移動します。
5. ステップ3から4までを繰り返し、すべてのネットワークアドレスの入力を行います。
6. 入力完了後、「Exit」を選択し、「SET」を押します。10キーパレットが消えます。



システム構成での注意

同じネットワーク内に複数台のネットワークユニットを接続する場合

工場出荷状態のままの本製品を複数台、同じネットワーク内に接続しないようにしてください。ネットワークユニット同士でIPアドレスが衝突し、動作不良の原因になります。

同じネットワーク内に複数台の本製品を接続するときは、以下の手順で設定を行ってください。

1. 本製品のIPアドレスを工場出荷状態から変更します。プロジェクター本体のネットワーク設定メニューを操作します。変更のしかたは「ネットワークの設定」(☞ p.20)を参照してください。
2. 設定したIPアドレスが他の機器と重ならないことを確認してから、ネットワークに接続します。
3. 2台目以降、上記手順でネットワークに接続する前にIPアドレスを変更し、ネットワークに接続します。)

DHCP/BOOTPサーバーを使用するネットワーク環境でネットワークユニットを接続する場合

本製品はDHCP/BOOTPサーバーには対応していません。必ず手動にて固定IPアドレスを設定してください。

本製品に設定したIPアドレスを、DHCPサーバーがネットワーク内の他の機器に割り振らないようにDHCPサーバーの設定を行ってください。詳しくはネットワーク管理者へ相談ください。

3 ソフトウェアのインストール

ネットワークキャプチャー機能、ネットワークビューワー機能を利用するためには、コンピュータにソフトウェアをインストールする必要があります。以下の手順でインストールしてください。

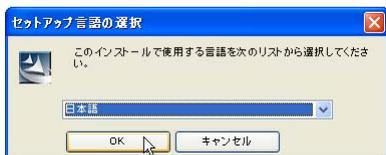
注意：

Windows 2000、Windows XP および Windows NT では、コンピュータの管理者権限でログインしてソフトウェアのインストールを行う必要があります。また、インストールの前に他のアプリケーションを必ず終了しておいてください。他のアプリケーションが起動していると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

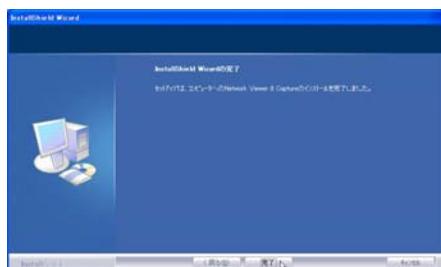
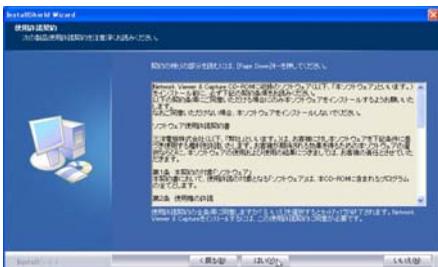
Network Viewer & Captureのインストール

1 コンピュータのCD-ROMドライブに付属のViewer & Capture のCD-ROMを挿入します。CD-ROM内「Tool」フォルダ内の「SetupTool.exe」をダブルクリックしてインストールを開始します。

2 表示される「セットアップ言語の選択」ウインドウより表示言語「日本語」を選択した後、「OK」をクリックします。インストールウィザードに従ってインストールを開始してください。



インストールの途中で、ソフトウェア使用許諾契約画面が表示されますので、内容をよくお読みの上、使用許諾内容に同意いただける場合には「はい」をクリックしインストールを進めてください。



インストールされるソフトウェア

以下の3つソフトウェアがそれぞれインストールされます。

● Network Capture :

コンピュータのスクリーン画面をキャプチャーしプロジェクターへネットワークを介し配信します。

スタートアップフォルダに登録され、コンピュータ起動時に常にタスクバーに常駐します。

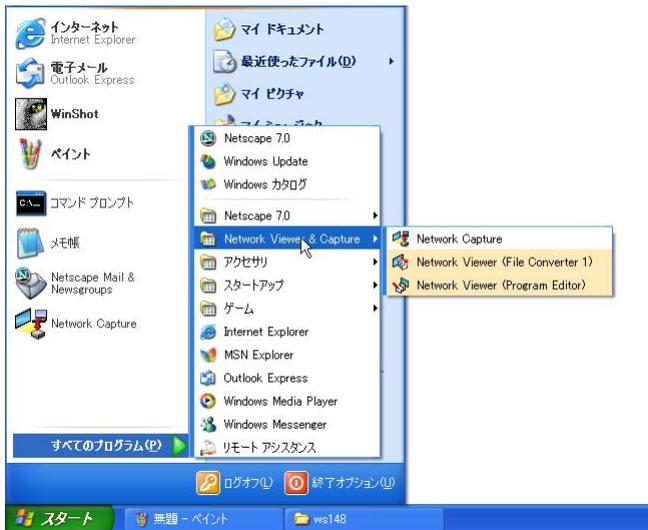


● Network Viewer (File Converter 1) :

JPEG、BMPファイルをプロジェクターで投影可能なJPEGデータ*1形式に変換します。

● Network Viewer (Program Editor) :

プログラム作成ツールです。ファイルサーバーに保管しているJPEG画像データの投影の指定や順序をプログラムする機能を持ちます。



* 本ソフトウェアを削除するときには、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」で行ってください。

* 1 プロジェクターで投影可能なデータは ISO/IEC 10918、ITU-T 勧告 T.81 に準拠したJPEG形式です。JPEGファイルには色々な形式があります。本プロジェクターのネットワークビューワー機能を使用してJPEG画像を投影するには、予め File Converter アプリケーションを使用して最適化されたJPEGファイルに変換する必要があります。

File Converter 2のインストール

- 1 コンピュータのCD-ROMドライブに付属の Viewer & Capture のCD-ROMを挿入します。CD-ROM内「Driver」フォルダ内の「SetupDrv.exe」をダブルクリックします。
- 2 表示されるウインドウより、言語「日本語」を選択した後、「インストール」をクリックし、インストールを開始します。



インストールされるソフトウェアと場所

Network Viewer (File Converter 2)はコントロールパネル内の「プリンタとFAX」内にインストールされます。

- **Network Viewer (File Converter 2) :**
JPEGデータ変換のプリンタドライバ、アプリケーションで作成した書類からプロジェクター投影用JPEGデータ形式に変換します。

* 本ソフトウェアを削除（アンインストール）する場合には、Network Viewerアイコンを削除します。



3

第3章 基本操作・設定

ここでは、本製品を使用してネットワークに接続されたプロジェクターを管理するために必要な基本の操作方法・設定方法について説明します。コンピュータとプロジェクターがネットワークに接続され、適切にネットワークの設定がされている必要があります。

プロジェクターの設定画面にログインする

1 IPアドレスを入力する

Webブラウザを起動し、「アドレス」にネットワークユニットのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。



IPアドレスは『ネットワークの設定』(p.20)で設定したアドレスを入力します。工場出荷状態のIPアドレスは192.168.0.2です。

2 表示モードを選択しログインする

以下のグラフィック表示モードとテキスト表示モードが用意されています。ご使用の環境に合わせて適切なモードをクリックして選択してください。



グラフィックモード

600 x 400 ドット表示、メニューや設定項目をグラフィックアイコンで表示します。通常はこのモードを選択します。

テキストモード

200 x 300 ドット表示、PDA 等の携帯用PCでの表示に最適化しています。また、ネットワークが遅いときに使用すると便利です。

設定画面にパスワードが設定されている場合には、パスワード認証ウィンドウが表示されますので、「ユーザー名：user」、パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。
*ユーザー名は必ず「user」を入力します。

[ご注意]

初めてプロジェクターにアクセスした場合や、パスワードをなし[0000]に設定している場合では、この認証ウィンドウはスキップされ、次のメイン設定画面が表示されます。



3 メイン設定画面の表示

選択した表示モードに応じて、以下のようにプロジェクターのメイン設定画面が表示されます。この画面から各種設定を行います。各種リンク項目をクリックし操作・設定画面を表示します。

1 グラフィックモードでのメイン設定画面

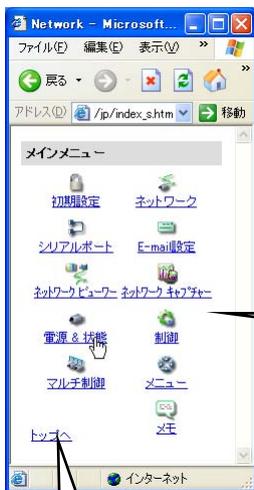
設定ページ番号
リンクされた番号をクリックしてページを切り替えます

メインメニュー
プロジェクターの各種設定やコントロール項目を選択するメインメニューです。
(※ p.39)

設定画面
選択したメニューに対するコントロール項目や状態項目が表示されます。最初の画面は「電源 & 状態」が表示されます

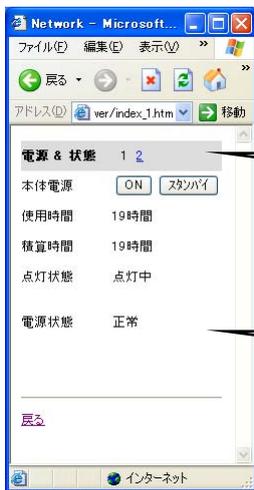
*本説明書ではこのグラフィックモードを使用した設定・コントロール方法の操作説明をおこないません。

2 テキストモードでのメイン設定画面



メインメニュー
プロジェクターの各種設定やコントロール項目を選択するメインメニューです。クリックすると選択項目のサブメニューや状態項目が表示されます

表示モード設定ページに戻ります



設定ページ番号
リンクされた番号をクリックしてページを切り替えます

設定画面
選択したメニュー項目の設定項目、プロジェクターの状態、等が表示されます

テキストモードではネットワークビューワ機能に以下の制限があります。

- ・表示対象のプログラムまたはフォルダの選択はできません (※ p.75)
- ・プログラムの新規登録、確認、変更は行えません (※ p.77 - p.78)。



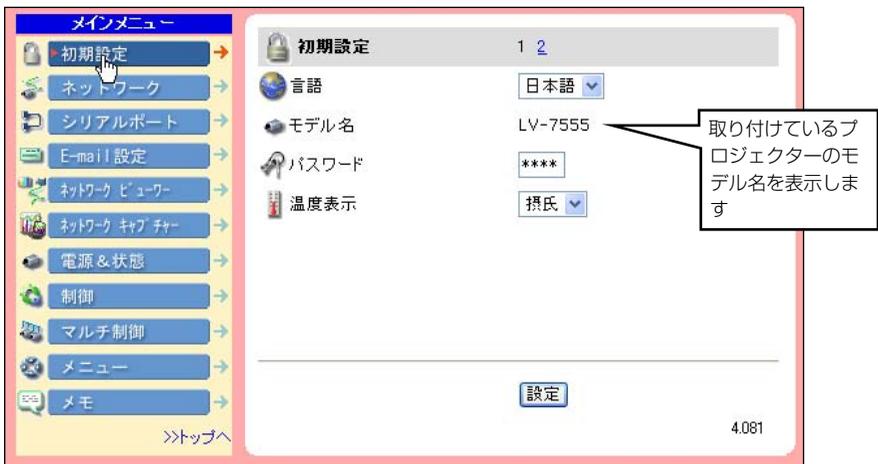
初期設定をする

本製品をプロジェクターに取り付けネットワークに接続したら、以下の基本項目を設定します。

メインメニューの「初期設定」をクリックし、初期設定画面を表示します。ここでは、言語、日付・時刻、パスワード、及び温度表示単位を設定します。また、モデル名の欄には本製品が取り付けられているプロジェクターのモデル名が表示されます。

1 言語を設定する

Web画面の表示言語を選択します。プルダウンメニューから使用する言語メニューを選択し、「設定」ボタンをクリックします。英語と日本語で表示することが出来ます



ご注意

- * 1 言語切り替えはWebブラウザのJavaScript機能を利用しています。もし、ブラウザの設定がJavaScriptを使用しない設定になっている場合、以下のような「設定」リンクテキストが表示されますので、テキストをクリックすると言語が切り換えられます。ブラウザのJavaScriptの設定を変える方法はブラウザの種類やバージョンによって異なります。詳しくは『付録：ブラウザの設定／アクティブスクリプト（JavaScriptを有効）にする』（※ p.98）の項目をご覧ください。



2 パスワードを設定する

この画面では、Webブラウザを通じてプロジェクターの設定ページへのアクセスを制限するためのパスワードを設定します。パスワード入力エリアにパスワード（4桁の半角数字）を入力し、「設定」ボタンをクリックします。



「設定」ボタンをクリックすると「再起動を行います。40秒後にブラウザを1度閉じてください」のダイアログボックスが表示されますので、指示に従ってブラウザを閉じた後に、再度ログイン画面にアクセスしてください。

初期設定ではパスワードなしに設定されています。パスワード「0000」はパスワードなしを設定する番号です。通常は使用しないでください。

- *本製品をネットワークに接続する場合にはパスワードの設定を行うことをお勧めします。
- *プロジェクターに設定したパスワードを忘れてしまった場合、プロジェクター本体を操作し、ネットワーク設定/Passwordメニューから確認することができます。詳細は22ページの「パスワード設定」を参照ください。

3 温度単位を設定する



電源&状態ページで表示されるプロジェクターの内部温度の単位をプルダウンメニューを使って切り換えます。

摂氏：°Cで表示

華氏：°Fで表示

*プロジェクターアイコン A, B, C はプロジェクターに設置されている温度センサーを表します。詳細は「プロジェクターの状態を確認する」をご覧ください。(p.41)

電源 & 状態	1 2						
入力状態	インプット 3						
選択	VIDEO						
信号状態	信号有り						
内部温度	<table border="0"> <tr> <td> A</td> <td>29.0°C</td> </tr> <tr> <td> B</td> <td>55.0°C</td> </tr> <tr> <td> C</td> <td>38.9°C</td> </tr> </table>	A	29.0°C	B	55.0°C	C	38.9°C
A	29.0°C						
B	55.0°C						
C	38.9°C						

△ 注意

電池について

本製品にはリチウム電池が使用されています。電池が切れた場合では、タイマー機能・時計機能は正常に動作しません。電池の交換のために、お買い上げ販売店に連絡してください。電池の交換は、認定されたサービスマン以外行うことは出来ません。

4 日付・時刻を設定する

設定ページ番号 [2] をクリックし、日付・時刻設定ページを表示します。

日付入力エリアに現在の日付を(年/月/日)形式で半角で入力します。時刻入力エリアに現在の時刻を24時間形式の(時:分)で半角入力します。

「設定」ボタンをクリックして登録します。正しく登録されたことを確認します。画面上に表示される日付・時刻は自動的に更新しませんので「更新」ボタンをクリックして現在の日付・時刻を取得します。

The screenshot shows a web interface for initial settings. At the top, there is a tab labeled '初期設定' (Initial Setup) with a lock icon and a page number '1 2'. Below it is a section titled '時刻設定' (Time Setting) with a clock icon. Underneath, it says '現在時刻' (Current Time) and displays '2003/04/09(水) 12:07'. There is a '更新' (Update) button next to the time. Below this, there are two input fields: '日付 (年/月/日)' (Date) containing '2003/04/09' and '時刻' (Time) containing '12:07'. At the bottom of the form, there is a '設定' (Settings) button with a mouse cursor pointing to it.



ネットワークの設定をする

メインメニューから「ネットワーク」をクリックします。以下の画面が表示されます。ここではプロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS、プロジェクター名を設定します。



1 ネットワークを設定する

IPアドレス、サブネットマスクは『セットアップ』編ですでに設定されています。変更する場合や、デフォルトゲートウェイ*1、DNS*2を設定する場合には、ここで設定します。各項目のアドレスを入力し、「設定」ボタンをクリックします。

「設定」ボタンを押すと、ネットワークユニットは再起動を始めます。再起動の完了は約40秒かかります。一旦ブラウザを閉じ（終了し）、約40秒後に、再度ログイン画面にアクセスしてください。

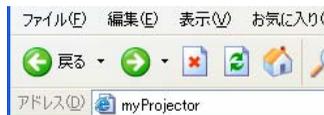
※ アドレスはネットワーク管理者より指定された番号を使用ください。また、入力方法は以下のように、4つの数字のグループをドットで区切って入力します。

例：192.168.1.101

2 プロジェクター名を設定する

プロジェクターに名前*3を付けることができます。

DNSサーバーに適切に設定することで、WebブラウザからIPアドレスの代わりにこの名前前でアクセスすることが可能です。詳しくはDNSサーバーを管理するネットワーク管理者にご相談ください。



ご注意

- *1 ゲートウェイ（ルータ）を使用しないネットワークでは [0.0.0.0] に設定します。
- *2 メール警告機能を利用しない場合には [0.0.0.0] に設定します。
- *3 プロジェクター名には日本語（2バイト文字）を使用しないでください。もし、DNSサーバーを使用する場合、DNSサーバーに登録したホスト名をプロジェクター名として登録してください。これにより、ネットワーク内のどのコンピュータからでもこのプロジェクター名でアクセスすることが可能です。DNSサーバーを利用しない場合は、IPアドレスを使用してアクセスします。



E-mailの設定をする

本製品は、プロジェクターに異常が発生したときやランプの交換時期がきたときなどに、管理者やユーザーに異常や警告を知らせるE-mail機能を持っています。メインメニューから「E-mail設定」をクリックし、以下の手順に従って設定します。



1 E-mail アドレスを登録する

SMTPサーバー*1のアドレス、管理者の E-mail アドレスを入力し、「設定」ボタンをクリックします。管理者のアドレスはプロジェクターから送信されるメールの返信先アドレスとして設定されます。

- *1 SMTPサーバーとはメール送信用のサーバーのことです。設定するアドレスについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- * プロジェクターに異常が発生しネットワークユニットが警告メールを送信しようとするときに、SMTPサーバーが何らかの理由でダウンしていた場合には、警告メールは送信できません。この場合、“サーバーに接続できませんでした”のメッセージが設定ページ上に表示されます。「設定」ボタンをクリックすると、メッセージは消えます。

ご注意

- ☞ E-mail機能を使用するには、ネットワーク設定のDNSアドレスが正しく設定されている必要があります。
- ☞ DNSサーバー、メールサーバーが利用できない環境では、このE-mail機能は使用できません。大規模なネットワークでは、LAN構内にSMTPサーバーを設置している場合があります。この場合、SMTPサーバーに設定するアドレスはLAN内に設置されているサーバーのアドレスを指定します。構内LAN以外のアドレスは利用できないことがあります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。
- ☞ 送信先に登録できるメールアドレスの数は10個までです。

2 メール送信先の登録と削除

送信先追加に送信先のアドレスを入力し、「設定」ボタンをクリックします。

登録されたメールアドレスは「送信先確認・削除」のリンクテキストをクリックすると、リスト表示されますので確認します。

登録メールアドレスを削除するには、削除するメールアドレスのチェックボックスにチェックを入れ「削除」ボタンをクリックします。

[送信先確認・削除](#)

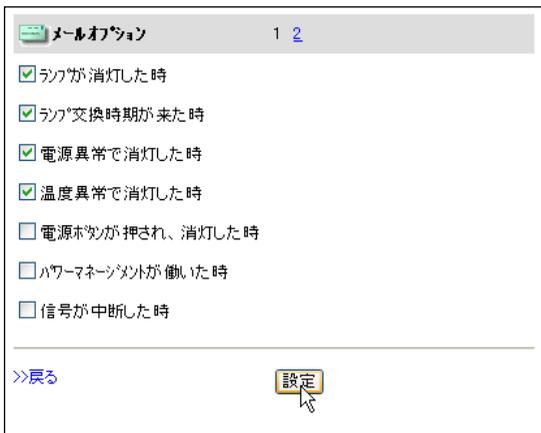


3 警告メールを送信するオプション 選択

「オプション」のリンクテキストをクリックします。警告メールを送信するオプション項目のチェックボックスにチェックを入れて「設定」ボタンをクリックします。

送信される警告メッセージについては次ページの「警告メールの種類と内容[例]」を参照ください。

[OPオプション](#)



4 警告メールを送信する条件選択

警告メールを送信する条件項目のチェックボックスにチェックを入れて「設定」ボタンをクリックします。

ランプの使用時間を予め設定しておき、設定時間に到達すると任意のメッセージを送信することが可能です。

ランプの使用時間にチェックを入れ、設定時間を入力します。添付メッセージテキストエリアに任意のメッセージを記入し、「設定」ボタンをクリックします。

*添付メッセージは日本語全角で127文字まで登録可能です。

*使用時間は0から9999時間まで設定可能です。

「オートプレイ中に接続エラーが発生したとき」では、ネットワークビューワー機能 (☞ p.74) を利用して画像を自動再生しているとき、エラーが発生した場合にメールを送信します。エラー内容の詳細については、「自動表示設定と制御ページ」の項目を参照ください。(☞ p.76)

警告メールの種類と内容 [例]

プロジェクターに異常が発生すると、設定した条件に応じて、以下のような警告メールが送信先メールアドレスに送信されます。管理者はこのメールの内容によって必要な対応を素早くとることができ、プロジェクターの保守や補修に役に立ちます。

以下は受信するメールのメッセージ例です。

● 温度異常で消灯したとき：

- ☞ プロジェクター内部の温度センサー[A], [B], [C] のどのセンサーが異常温度を検出して、プロジェクターが消灯したかをお知らせします。温度センサー[A], [B], [C] の設置場所及び温度については「プロジェクターの状態を確認する」の項目をご覧ください(☞ p.41)。また、具体的な対処方法につきましてはプロジェクターの使用説明書をご覧ください。

● 電源異常で消灯したとき：

件名: プロジェクターからのメッセージ
2003/3/12 00:31
プロジェクターのモデル名: LV-7555
TCP/IP: 192.168.1.201 プロジェクター名: myProjector

より、以下のメッセージが届きました。

- ・ プロジェクターの電源異常により、消灯しました。
プロジェクターの電源プラグを抜き、販売店に修理をご依頼ください。

☞ プロジェクターの電源に異常が発生しました。プロジェクターの電源プラグを抜き、販売店に修理をご依頼ください。

● ランプの交換時期がきたとき：

件名: プロジェクターからのメッセージ
2003/3/12 00:31
プロジェクターのモデル名: LV-7555
TCP/IP: 192.168.1.201 プロジェクター名: myProjector

より、以下のメッセージが届きました。

- ・ ランプの交換時期が来ています。

☞ 速やかにランプを交換し、ランプカウンターをリセットしてください。もし、カウンターをリセットしないままご使用になると、プロジェクターを起動するたびにメール警告が送信されます。E-Mail送信条件の「ランプ交換時期が来たとき」のチェックを外すと警告メールは送信されません。

● ランプの使用時間が予め設定した時間に達したとき：

件名: プロジェクターからのメッセージ
2003/3/12 00:31
プロジェクターのモデル名: LV-7555
TCP/IP: 192.168.1.201 プロジェクター名: myProjector

より、以下のメッセージが届きました。

- ・ ランプの使用時間が800時間に到達しました、ランプ交換の準備をしておいてください。

任意の文章

☞ ランプの使用時間が予め設定した時間に達すると、任意のメッセージを送信します。ランプ交換の準備やメンテナンスのお知らせなどにご利用いただけます。

4

第4章 プロジェクターの管理

ここでは、本製品を使用してネットワークに接続されたプロジェクターの操作、各種設定方法について説明します。28ページの手順に従って、プロジェクターの設定画面にログインして、メインメニューを表示してください。



プロジェクターの電源を入れる／切る

メインメニューの「電源&状態」をクリックし、電源&状態ページを表示します。

本体電源項目の「ON」、または「スタンバイ」ボタンを押すことで、プロジェクターの電源をコントロールします。「スタンバイ」ボタンを押したときは、確認のためのポップアップウィンドウ*1が現れますので、スタンバイにするときは「OK」をクリックします。



ご注意

- * 1 ポップアップウィンドウはWebブラウザのJavaScript機能を利用しています。ブラウザの設定がJavaScriptを使用しない設定になっている場合は、ポップアップウィンドウは表示されません。ブラウザのJavaScriptの設定を変える方法はブラウザの種類やバージョンによって異なります。詳しくは『付録：ブラウザの設定／アクティブスクリプト（JavaScriptを有効）にする』（※ p.98）の項目をご覧ください。



(JavaScript オン時)



(JavaScript オフ時)

ご注意

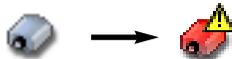
- プロジェクターの電源を切った後、約90秒間は電源が入りません。点灯状態が「クーリング中」から「OFF」になってから「ON」ボタンを押して、電源を入れてください。
- プロジェクター状態の確認は、20秒ごとに、Webブラウザによって自動的に行われます。

プロジェクターの状態を確認する

電源&状態画面では、プロジェクターの電源をコントロールする以外に、下表に記載する項目を確認することができます。電源&状態の 2 ページ目を表示するには、ページ番号 [2] をクリックします。



項目	説明
使用時間	ランプの使用時間を 1 時間単位で表示します
積算時間	プロジェクターの積算使用時間を 1 時間単位で表示します
点灯状態	ランプの状態を表示します
電源状態	電源の動作状態を表示します
入力状態	選択している入力モードを表示します
選択	選択している入力のソースモードを表示します
信号状態	信号入力の状態を表示します
内部温度	内部温度センサーの測定温度を摂氏または華氏で表示します 画面中の A, B, C はプロジェクター内部の温度センサーを表します。測定温度が指定されたある温度を超えると、A, B, C の各アイコンは以下のような警告アイコンに変わり、異常温度上昇を知らせます。プロジェクター周辺の温度や、エアフィルタの目詰まり、吸気・排気ファン周辺を確認してください



アイコン[A], [B], [C]は以下の場所の温度を表しています。

[A]: プロジェクター周辺温度*

[B]: ランプ周辺温度

[C]: パネル周辺温度

* プロジェクターの周辺温度は実際の周辺温度とは異なり、少し高めに表示されます。



プロジェクターをコントロールする

メインメニューの「制御」をクリックします。制御サブメニューが下段に表示されます。それぞれのアイコンをクリックすると設定画面が表示されます。

設定方法は各ページの内容によって異なります。設定項目は複数のページに分けて表示されていますので、ページ番号のリンクテキストをクリックしてページを切り替えます。

***設定項目についての詳細な情報は、プロジェクター本体の使用説明書をご覧ください。**



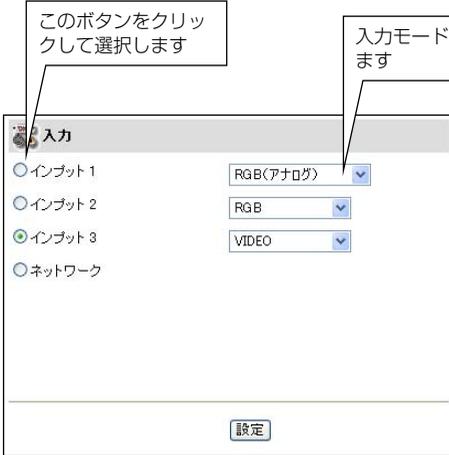
ご注意

- 設定画面は、選択している入力モード、或いは、ご使用になるプロジェクターの機能によって自動的に必要な設定項目を表示します。従って、画面の表示と説明項目が異なることがあります。また、入力信号によっては調整できない項目があります、詳しくはプロジェクター本体の使用説明書をご覧ください。
- プロジェクターがスタンバイ状態の場合、コントロール項目に対する設定の変更はできません。ただし、タイマー設定は可能です。



入力

この画面では、入力端子とモードの選択を行います。プロジェクターの入力端子の選択をラジオボタンで選択し、入力信号モードをプルダウンメニューから選択します。「設定」ボタンを押して切り替えます。選択項目は以下の通りです。



項目	説明
インプット1	RGB(アナログ), RGB(Scart), RGB(PC デジタル), RGB(AV HDCP), モニター出力 より選択します
インプット2	VIDEO, Y,Cb/Pb,Cr/Pr, RGB より選択します
インプット3	VIDEO, S-VIDEO, Y,Cb/Pb,Cr/Pr より選択します
ネットワーク	ネットワークキャプチャー、ビューワー機能を利用する場合の入力モードです



PC調整

この画面では、プロジェクターに接続されたコンピュータからの信号を、最適にスクリーン上に投射する調整を行います。設定画面のページはページ番号をクリックして切り替えます。



項目	説明
モード	コンピュータのモードを表示します
自動PC調整	自動調整をおこないません
トラッキング	トラッキングの調整をします
総ドット数	水平期間の総ドット数の調整をします
水平位置	水平画像位置の調整をします
垂直位置	垂直画像位置の調整をします



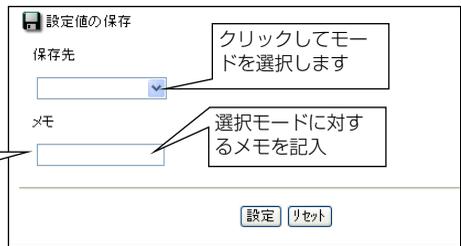
項目	説明
クランプ	画像のクランプ位置を調整します
画像領域H	水平画像の領域を調整します
画像領域V	垂直画像の領域を調整します
フル スクリーン	スクリーン全面に表示します

メモ

PC調整はRGB(アナログ)、または ネットワーク入力モード時のみ設定項目が表示されます。

PC調整値を保存する

- 1 PC調整ページ [1] ~ [2] で好みのPC調整値を決定します。
- 2 調整ページ [3] を表示し、「調整値の保存：保存先」のプルダウンメニューから保存したいモード番号を選択します。メモ欄に選択モードの簡単な説明を記入します。
- 3 「設定」ボタンを押して登録します。調整値を元の状態に戻したい場合には、「リセット」ボタンをクリックします。



Mode1からMode5に対するメモは、「データあり」または「データなし」のいずれかで表示されます。ExMode6からExMode50に対するメモは、入力した文字を保存することが可能です。

PC調整値を呼び出す

設定値のロードのプルダウンメニューから、呼び出したい設定値を選択し、「設定」ボタンをクリックします。保存されている設定値が適用されます。



メモ

- PC調整値はMode1からMode5、及びExMode6からExMode50の50セットが保存可能です。
- Mode1からMode5の調整値はプロジェクターに保存されます。ExMode6からMode50の調整値はネットワークユニットに保存されます。



システム調整

この画面では、プロジェクターに入力する映像信号のカラーシステムや走査方式を選択します。入力信号のカラーシステムまたは走査方式に合わせてラジオボタンを押して選択し、「設定」ボタンをクリックします。入力モードにより、設定項目が切り替わります。

VIDEO/S-VIDEO入力時の設定項目



項目	説明
カラーシステム調整	ビデオ信号のカラーシステムを選択します
AUTO	入力信号のカラーシステムに自動で対応します

Y, Cb/Pb, Cr/Pr入力時の設定項目



項目	説明
システム調整	コンポーネント信号の走査方式を選択します
AUTO	入力信号の走査方式に自動で対応します

メモ

- 日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く「AUTO」を選択してもシステムが自動で選択できない時は、「NTSC」を選んでください。
- システム調整はビデオ（ビデオ／コンポーネント）信号入力時のみ、設定項目が表示されます



イメージ調整

この画面では、プロジェクターのイメージ調整と設定を行います。イメージモードの選択は、プルダウンメニューから希望するイメージモードを選択し、「設定」ボタンをクリックします。設定項目は入力モードにより自動的に切り変わります。また、各々の設定の変更はページ毎に「設定」ボタンをクリックします。「リセット」ボタンを押すと、全てのページの項目がリセットされます。

* ご使用になるプロジェクターの機能、及び、選択している入力モードによっては利用できない調整項目があります。この場合、項目の値は「--」で表示されます。

項目	説明
ターボブライトシステム	画面の明るさを切り換えます
イメージ	スタンダード、ハイコントラスト*、シネマ**、カスタムをプルダウンメニューから選択します。カスタムはユーザ設定項目です
イメージモード	基本となるイメージモードを表示します
調整項目	コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合いを調整します

* PC入力の場合のみの設定メニューです。

** ビデオ入力の場合のみの設定メニューです。

項目	説明
ホワイトバランス	色温度色温度を設定します 赤・緑・青ホワイトバランスを調整します

項目	説明
画質	画質を調整します
ガンマ補正	暗部の明るさを調整します
ノイズリダクション	ノイズリダクションを切り替えます
アノグレリッパ	アノグレリッパモードを切り替えます
自動画質補正	画質を自動で最適に調整します
調整値保存	イメージ調整の設定値を保存するモードを選択します

イメージ調整値を保存する

- 1 イメージ調整ページ [1] ~ [3] で好みのイメージ調整値を決定します。
- 2 調整ページ [3] を表示し、調整値保存のプルダウンメニューから「カスタム」を選択します。
- 3 「設定」ボタンを押して登録します。
調整値を元の状態に戻したい場合には、「リセット」ボタンをクリックします。



「カスタム」はユーザー設定したイメージ設定値を保存するためのモードです。

「オリジナルモード」とは、ユーザー設定項目の「カスタム」がどのモードを基本に設定されたかを表します。

イメージ調整値を呼び出す

調整ページ [1] を表示し、イメージ調整プルダウンメニューから、モードを選択し「設定」ボタンをクリックします。





スクリーン

この画面では、プロジェクターのスクリーンモードの選択を行います。設定項目はPC入力とビデオ入力とで自動的に切り変わります。



項目	説明
アスペクトスクリーンの投射モードを切り換えます
リアル*画像の投射を切り換えます
デジタルズーム*画像の拡大、縮小、またはズームなしを設定します

* PC入力の場合のみの設定メニューです。



音声

この画面では、プロジェクターの音声の調整を行います。各テキストボックスの値は現在の設定値を表します。



項目	説明
音量内蔵スピーカの音量を調整します
消音スピーカからの出力を一時的に消します



セッティング

この画面では、プロジェクターのセットアップを行います。設定ページ番号 [1] ~ [6] のリンクテキストをクリックしてページを切り替えます。必要に応じて「設定」ボタンをクリックします。



項目	説明
言語	プロジェクターのメニュー言語を切り換えます
キーストン	投映画像の台形ひずみを補正します。「ハイスピード」にチェックを入れると変化が早くなります
OFF	キーストンの機能を停止します



項目	説明
ブルーバック	無信号入力時にブルーの画面を出す、出さないを設定します
オンスクリーン表示	メニューバーをスクリーンに表示する、しないを設定します
ロゴ	電源起動時にロゴを表示する、しないを設定します
天吊り	画像の上下左右を反転して映します
リア投映	画像の左右を反転して映します



項目	説明
ブランク	画像を一時的に消します
フリーズ	画像を一時的に静止させます
パワーマネジメント	入力信号がなく、プロジェクターが操作されない状態が以下の指定期間続くと、選択したパワーマネジメント(Off、待機、シャットダウン)が働きます。指定期間は30分まで設定可能です。
オンスタート	ACコードを接続するだけで電源が入ります
スリープモード	オート、サイレント、ノーマルモードを切り換えます

* ご使用になるプロジェクターの機能によっては表示される項目が異なります。



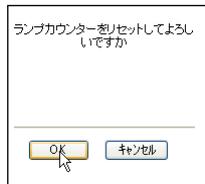
キーロック



項目	説明
リモコンコード	2種類のリモコンコードを設定することができます
ランプカウンターリセット	ランプカウンターをリセットするメニューです。光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。
初期設定	セッティングの各項目を工場出荷設定に戻します
P-TIMER	投影画面上にタイマーが表示されます。ページ上には「ON」 - 「STOP」 - 「OFF」と表示されます
キーロック	プロジェクターのコントロールを禁止します。「リモコン」またはプロジェクターの「操作パネル」からのコントロールを禁止します



(JavaScript オン時)



(JavaScript オフ時)

確認ウインドウについて

ランプカウンターリセットと初期設定のボタンをクリックすると確認ウインドウが表示されます。「OK」ボタンをクリックし実行します。



項目	説明
アスペクト	垂直スケール、垂直位置、水平スケール、水平位置をそれぞれ個別調整します
アナモフィック	ON にすると、強制的に4:3のスクリーンサイズに設定します



項目	説明
現在時刻プロジェクターに設定されている現在時刻を表示します
タイマー設定決められた日時、時刻にプロジェクターの電源を入れたり、切ったりする機能です。次項の「タイマー設定のしかた」でより詳しく説明します

タイマー設定のしかた

プロジェクターを指定した日時に起動、終了することができます。タイマーの設定は以下の手順で行います。

1 曜日・日付を指定する

毎週、或いは毎日決まった曜日を指定する場合には、
 曜日のラジオボタンを選択し、プルダウンメニューから希望する曜日を選択します。



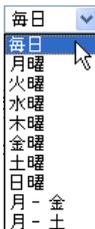
選べる曜日はこちらの通りです。

- ・ 毎日
- ・ 毎週 (月曜日から日曜日のいずれか)
- ・ 毎週 (月曜日から金曜日)
- ・ 毎週 (月曜日から土曜日)

指定した日付を指定する場合には、

日付ラジオボタンを選択し、(年/月/日)形式で指定する日を半角で入力します。

例：2003年8月20日を指定する場合は、「2003/08/20」と入力します



ご注意

* 1 ブラウザのJavaScriptの設定を変える方法はブラウザの種類やバージョンによって異なります。詳しくは『付録：ブラウザの設定／アクティブスクリプト (JavaScriptを有効) にする』(※ p.98)の項目をご覧ください。

2 時間を指定する

24時間表示の（時：分）形式で指定する時間を半角で入力します。

例：午後5時15分を指定する場合は、「17:15」と入力します

3 起動・終了を指定する

「ON」または「OFF」のプルダウンメニューから起動「ON」、終了「OFF」を選択します。

4 登録する

「設定」ボタンを押して設定したタイマーを登録します。

1～4を繰り返し、その他のタイマー設定を行います。

タイマーの確認をする

設定したタイマーイベントを確認するには、「タイマー確認」リンクテキストをクリックします。

[タイマー確認](#)



タイマー確認		
<input type="checkbox"/>	ON 毎日	10:30
<input type="checkbox"/>	OFF 毎日	12:30
<input type="checkbox"/>	ON 月～金	17:00
<input type="checkbox"/>	OFF 月～金	19:00
<input type="checkbox"/>	ON 2003/4/9	09:30
<input type="checkbox"/>	ON 2003/4/25	20:15

>>戻る 削除

現在時間の取得

現在時間はセッティング画面を表示した時点での時間を表示します。画面表示は自動更新されませんので、時間を更新する場合には「更新」ボタンをクリックします。



セッティング 1 2 3 4 5 6

現在時刻
2003/04/09(水) 13:56 更新

タイマー設定
(年/月/日) 2003/04/09

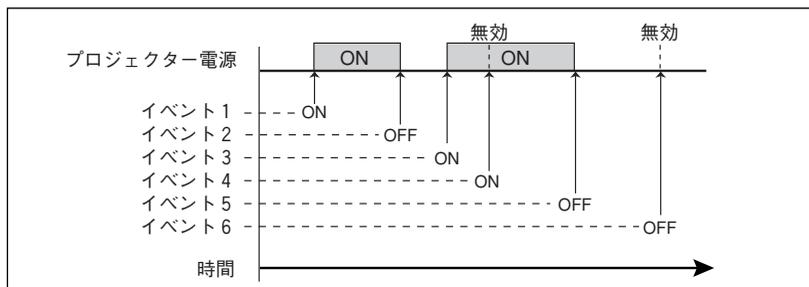
13:56 ON タイマー確認

設定

タイマー設定上のご注意：

* タイマーイベントは一度に10種類設定することができます。タイマーイベントは、プロジェクターの状態に応じて、常に有効なイベントに従って機能します。

例えば、下のチャートのように、イベント3でプロジェクターを起動し、次のイベント4で、再度プロジェクターを起動するようなイベントでは、既にプロジェクターは起動していますので、イベント4は無効となります。同様にイベント6ではプロジェクターがオフしている状態で、OFFするイベントは無効となります。但し、何らかの理由でプロジェクターがオフ、またはオンしていると、これらのイベントは有効になります。



* タイマーイベントが同じ時刻に設定された場合では、後から設定されたイベントに上書きされます。例えば、「毎日8:00にON」に設定されたイベントがあるとき、後から「毎日8:00にOFF」の設定がされると、前のイベントは無効となります。

* プロジェクターがクーリング期間中にタイマー設定で「ON」のイベントが発生した場合には、このイベントは無効となります。プロジェクターはクーリング期間中にはオンできません。

タイマー設定を解除する

設定を解除する場合は、解除したいイベントのチェックボックスにチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックします。



ご注意

☞ タイマーは本製品内の時計機能にて動作しています。タイマーを設定する前に、現在の日付・時刻が正しく設定されていることを確認してください。また、時計機能、タイマー機能は本製品に内蔵されています。リチウム電池にて機能しています。電池が切れた場合、タイマー機能・時計機能は正常に動作しません。電池の交換はお買い上げ販売店にご相談ください。電池の交換は、認定されたサービスマン以外行うことは出来ません。



サービス

この画面では、プロジェクターの冷却ファンの回転を制御します。プロジェクターを設置する環境に応じて、最適なファンコントロールスピードを設定します。プルダウンメニューより「通常」または「最大」を選択後、「設定」ボタンをクリックします。





保存

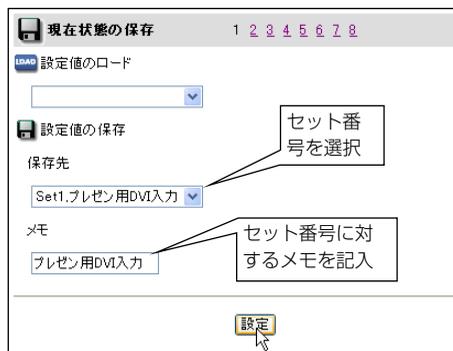
この画面では、プロジェクターの各種調整と設定を一括して保存、及び、読み出しを行います。調整・設定を保存できる項目は、入力モード、PC調整、システム調整、イメージ調整、スクリーンの各々の項目です。

1 調整・設定する

選択した信号に応じて調整項目を最適な設定にします。(設定のしかたは、43～49ページを参照してください)

2 保存画面を表示する

制御メニューの「保存」アイコンをクリックすると、右の画面のように設定ページが表示されます。ページ番号 [2] ~ [8] をクリックしページを切り替え、設定状態を確認します。詳細な内容は次ページをご覧ください。



3 設定に名前を付ける

「設定値の保存 - 保存先」のプルダウンメニューから希望する保存セット番号 (set 1 ~ set 10) を選択します。メモ欄には保存するセットの名前をメモとして記入します。

4 セットを保存する

「設定」ボタンを押して、選択した保存セット番号に設定値を保存します。

メモ

設定値を保存できるセットは「set 1～set 10」までの10個です。設定値はネットワークユニットに保存されません。

保存項目の確認

保存する項目の状態確認は、ページ番号 [2] ~ [8] のリンクテキストをクリックしてページを切り替えて確認します。保存項目は以下のように表示されますが、入力信号やプロジェクターの機能によって表示内容は変わります。

現在状態の保存		1 2 3 4 5 6 7 8
現在の設定値		3
入力		
インプット 1	RGB(アナログ)	
PC調整		
MODEJモード	---	
トラッキング	0	
総ドット数	0	

現在状態の保存		1 2 3 4 5 6 7 8
水平位置	0	3
垂直位置	0	
クランプ	0	
画面領域 H	0	
画面領域 V	0	
フル スクリーン	---	

現在状態の保存		1 2 3 4 5 6 7 8
システム調整		3
カラーシステム	AUTO	

現在状態の保存		1 2 3 4 5 6 7 8
スクリーン		4
アスペクト	ノーマル	
垂直スケール	4	
垂直位置	1	
水平スケール	0	
水平位置	0	
アナモフィック	OFF	

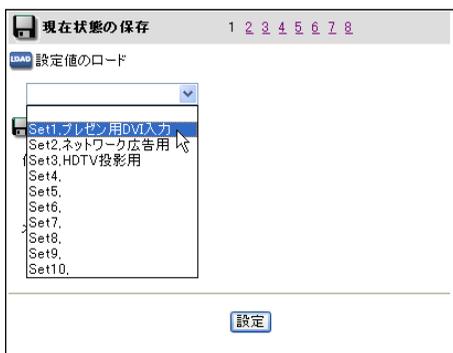
現在状態の保存		1 2 3 4 5 6 7 8
イメージ調整		5
カーボフライトシステム	OFF	
MODEJオシナルモード	スタンダード	
コントラスト	32	
明るさ	32	
色の濃さ	32	
色合い	32	

現在状態の保存		1 2 3 4 5 6 7 8
ホワイトバランス		6
色温度	Mid	
R 赤	32	
G 緑	32	
B 青	32	

現在状態の保存		1 2 3 4 5 6 7 8
画質	15	7
ガンマ補正	8	
ノイズリダクション	ON	
アノクレーション	L1	
AUTO 自動画質補正	L1	
ランプモード	オート	

既に設定したセットを読み出す時には

「設定値のロード」のプルダウンメニューから呼び出したいセット番号を選択し、「設定」ボタンをクリックします。選択したセット番号の設定値が現在の調整項目に適用されます。



設定例の画面サンプル



プロジェクターのメニューを操作する

メインメニューより、「メニュー」を選択します。以下のメニュー操作画面が表示されます。これはネットワークを通じてプロジェクターのメニューを操作する画面です。

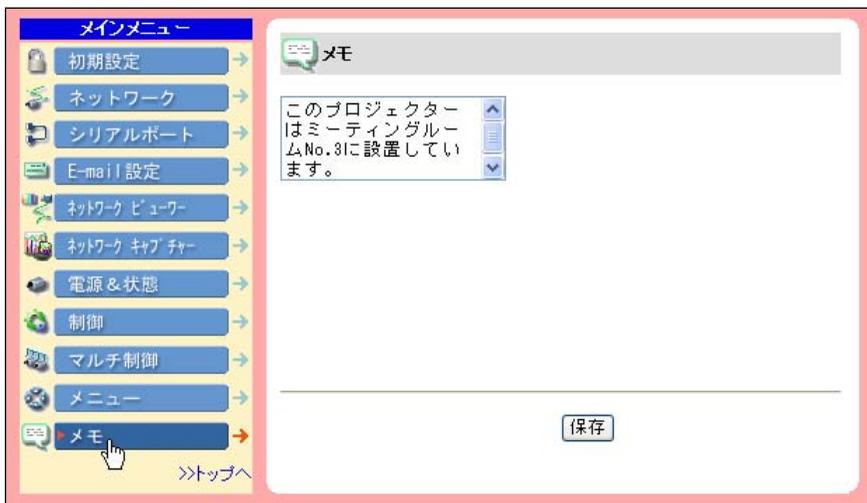


項目	説明
メニュー表示	「ON」、「OFF」ボタンを押し、投映画面にプロジェクターのメニューバーの表示の切り替えを行います。
カーソル	「←」、「→」、「↑」、「↓」ボタンを押して、カーソルを移動します。「Set」ボタンを押して、選択を確定します。



メモをつける

メインメニューより、「メモ」を選択します。以下のメモ保存画面が表示されます。ここにはプロジェクターを設置している場所等の簡単な説明を保存すると便利です。この保存したメモはログイン画面で表示されます。



メモ

メモの内容はネットワークユニットに保存されます。

5

第5章

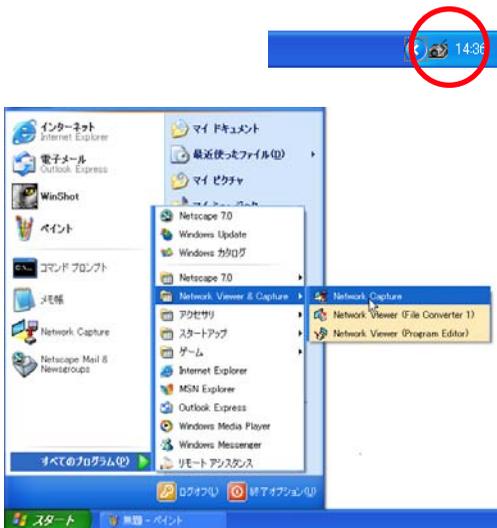
ネットワークビューワー&キャプチャー

ネットワークキャプチャー機能を使う

ネットワークキャプチャーとは、Network Capture ソフトウェアをインストールしたコンピュータのスクリーン画面をネットワークを介してプロジェクターで投映する機能です。キャプチャー可能なコンピュータは10台まで登録可能です。プロジェクターで投映するコンピュータのキャプチャー画面は、コンピュータ、Web ブラウザ、プロジェクターからそれぞれ選択可能です。*ネットワークビューワー機能使用中はネットワークキャプチャー機能を使用できません。

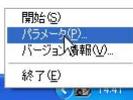
Network Capture の起動

Network Capture をインストールするとショートカットが「スタートアップ」フォルダに作成されます。従って、コンピュータを起動するとNetwork Capture ソフトウェアも起動し、タスクバーにアイコンが常駐します。タスクバーにアイコンが表示されていない場合には、Network Captureは起動していません。「スタート」メニューの「すべてのプログラム(P) - 「Network Viewer & Capture」 - 「Network Capture」をクリックし、起動してください。Network Capture がスタンバイしている状態（タスクバーアイコンで表示）では、ソフトウェアはキャプチャーの準備をしている状態です。



パラメータを設定する

- 1 タスクバー上のNetwork Capture アイコンをクリックします。
- 2 ポップアップメニューから「パラメータ(P)...」をクリックすると、設定ウィンドウが表示されます。
- 3 キャプチャーポート、マウスポートのポート番号を投映するプロジェクターのポート番号に合わせます。
 - * プロジェクターのポート番号の確認はWebブラウザを使用し確認します。詳細手順は「Webブラウザから操作する」を参照ください。(※ p.64)
 - * TCP/IPのポート番号を指定します。初期値ではそれぞれ、9000、9001です。ポート番号には予約されているポート番号があります。もし、これらの予約ポート番号を指定した場合や他のアプリケーションが使用しているポート番号を指定した場合は、無効なポート番号として警告ダイアログが画面に表示されます。この場合は、他のポート番号を使用してください。
 - * ポート番号にはプロトコル毎にhttp(80), ftp(21), telnet(23)等が予約されています。10000番はプロジェクターをコントロールする場合に使用するように予約されています。



- 4 「検索」 ボタンを押すとネットワークで利用できるプロジェクターのIPアドレスが表示されますので、映射するプロジェクターのIPアドレスをクリックし選択します。予めIPアドレスが分かっている場合には、直接アドレスを入力します。
- 5 画像モードを設定します。
 品質(Q)：高、中、低 から選択します。
 画像の拡大縮小(I)：チェックを入れるとコンピュータのスクリーン画面サイズを自動的にプロジェクターの映射スクリーンサイズに調整します。
- 6 「OK」 を押して設定を完了します。

画質モードについて

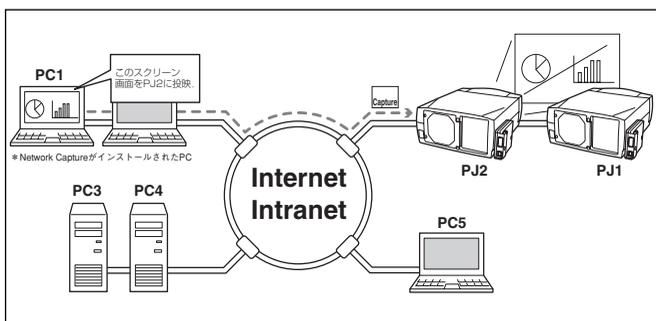
品質：キャプチャー画像の品質モードは以下のJPEG圧縮モードになります。

高：JPEG 低圧縮モード（高品質）

中：JPEG 中圧縮モード（標準）

低：JPEG 高圧縮モード（低品質）

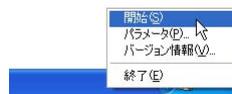
[1]コンピュータから操作する



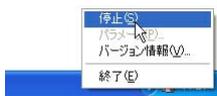
* PC1からネットワークキャプチャーを開始する

プロジェクターの入力モードに「ネットワーク」を選択しておきます。

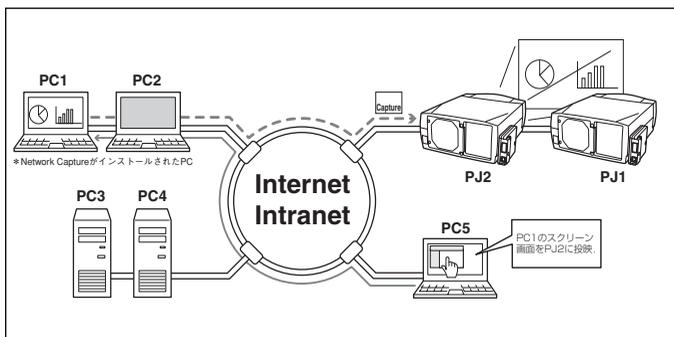
- 1 タスクバー上のNetwork Capture アイコンをクリックします。
- 2 ポップアップメニューから「開始(S)」をクリックします。
 プロジェクターの映射スクリーン上にコンピュータの画面が映射されます。
 *エラーメッセージが表示される場合には前項の「パラメータを設定する」を確認してください。
- 3 キャプチャーの停止はポップアップメニューから「停止(S)」をクリックします。



待機時 キャプチャー中
タスクバー上のアイコン



[2] Web ブラウザから操作する



*PC5からPC1のネットワークキャプチャーを開始する



プロジェクターの入力モードに「ネットワーク」を選択しておきます。

1 Web ブラウザを使用し、プロジェクターの設定画面にアクセスします。メインメニューより「ネットワークキャプチャー」をクリックし設定画面を表示します。(※ p.28)

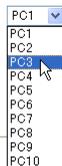
2 接続先のプルダウンメニューボタンから接続するコンピュータの番号を選択し、「開始」ボタンをクリックします。

* 接続先コンピュータのIPアドレスを予め登録しておきます。(※ p.65)

* キャプチャーポート、マウスポート番号は接続するコンピュータの設定に合わせます。(※ p.62)

* マウスカーソルを表示する場合には「ON」を選択します。

3 キャプチャーの終了は「終了」ボタンをクリックします。



* キャプチャー機能は、コンピュータにNetwork Capture ソフトウェアがインストールされ、タスクバーにアイコンが常駐している状態であれば、Web ブラウザ、またはプロジェクターからコントロールすることが可能です。

コンピュータの登録

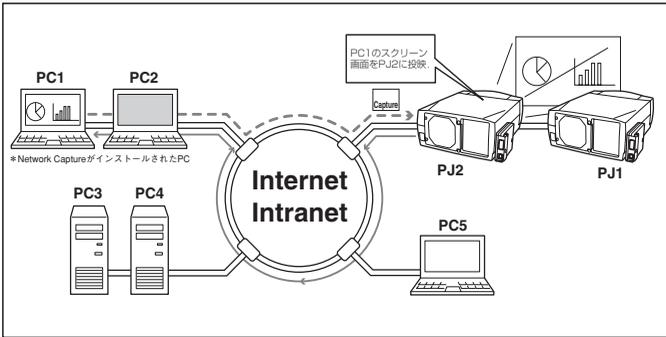
10台までのコンピュータを登録可能です。登録はネットワークキャプチャー設定ページより、ページ番号[2]または[3]をクリックし接続先設定ページに切り換え、それぞれのPC番号にコンピュータのIPアドレスを入力した後、「設定」ボタンをクリックします。

*接続先として選択したコンピュータにはNetwork Capture アイコンがタスクバーに現れている場合のみキャプチャーを開始します。

接続先設定	1	2	3
PC1	192.168.1.3		
PC2	192.168.1.4		
PC3	192.168.1.5		
PC4			
PC5			

設定

[3] プロジェクターから操作する

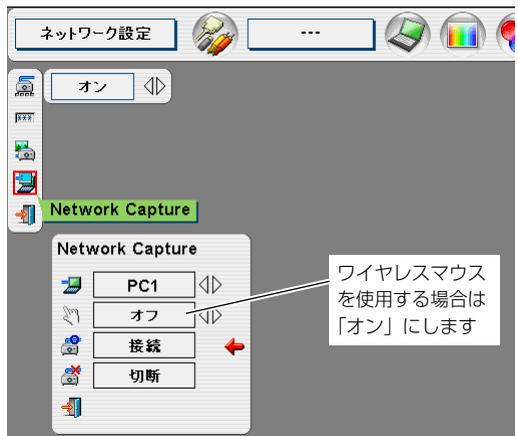


* プロジェクターPJ2からPC1のネットワークキャプチャーを開始する

プロジェクターの入力モードに「ネットワーク」を選択しておきます。

- 1 プロジェクター本体、または、リモコンの「MENU」ボタンを押し、メニューバーを表示します。
- 2 ポイントボタン (◀/▶) を使用して「ネットワーク設定」アイコンを選択し、「SET」を1回押し「オン」になっていることを確認します。
- 3 「Network Capture」アイコンをポイントボタン (▲/▼) を使用して選択し、「SET」ボタンを押します。
- 4 接続先コンピュータ番号をポイントボタン (◀/▶) を使用して選択します。
- 5 「接続」を選択して「SET」ボタンを押し、キャプチャーを開始します。キャプチャーの停止は「切断」を選択し「SET」ボタンを押します。

* プロジェクター側から接続先コンピュータのIPアドレスの登録やパラメータの設定はできません。予めWeb ブラウザを使用し登録しておきます。(☞ p.64-65)



ワイヤレスマウスを使用する場合は「オン」にします

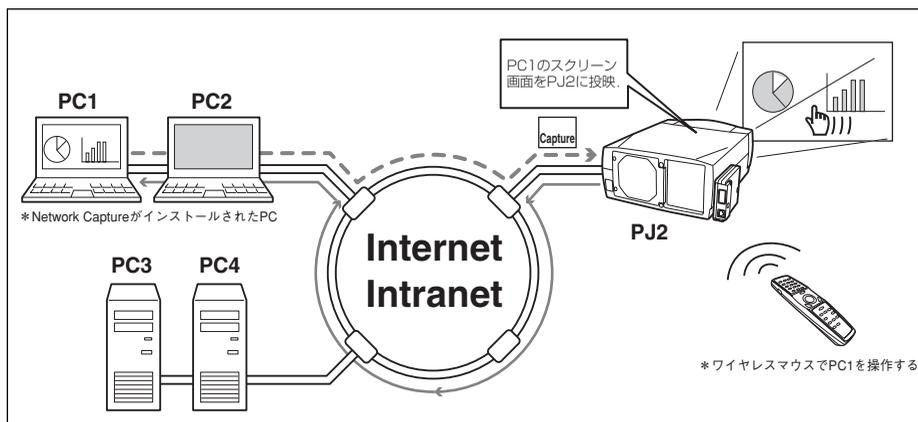
高度な使用例

リモコンをワイヤレスマウスとして使用し、プロジェクターからコンピュータに保管しているプレゼンデータを表示する

- 1 プロジェクターを操作し、コンピュータ PC1のキャプチャーを開始する。
 メニューから「Network Capture」アイコンを選択し、PC1を選択、「接続」を選択する。
 (※ p.65参照)
 => 指定されたコンピュータPC1にインストールされたNetwork Capture ソフトウェアがキャプチャーを開始します。
- 2 スクリーン上に投射されたPC1のキャプチャー画面より、プロジェクター付属のリモコンのワイヤレスマウス機能を使用し、PC1に保存されているプレゼンテーション用ファイルを探します。
- 3 任意のファイルを選択し、リモコンでダブルクリックします。
 => 書類作成元のアプリケーションが起動し、プレゼンテーション画面をスクリーン上に投射します。
- 4 プレゼンを開始する。
 => ワイヤレスマウスを使用して、ページの送り／戻りを操作します。その他、PC1の操作を行います。

*ワイヤレスマウスの操作方法については、プロジェクターの使用説明書をご参照ください。

*ネットワークキャプチャーで投射される画面では、マウスポイントボタンの形状がコンピュータ画面上と異なります。



設定条件

プロジェクター

入力モード：ネットワーク

ネットワークユニット

接続先の登録：PC1 にコンピュータのIP アドレスと適切なパラメータ設定がされていること
 (※ p.62、p.65)

マウス表示：ON (※ p.64)

コンピュータ PC1

ソフトウェア：Network Capture がインストールされ、起動していること (タスクバーにアイコンが表示されている状態)

投影可能な画像データを作成する [File Converter]

本プロジェクターに投影可能な画像データ形式はJPEG形式データです。JPEGデータには様々な形式のJPEGデータが存在します。ネットワークビューワー機能をご利用になる前に、一旦、本プロジェクターで投影可能な形式のJPEGデータに変換しておく必要があります。

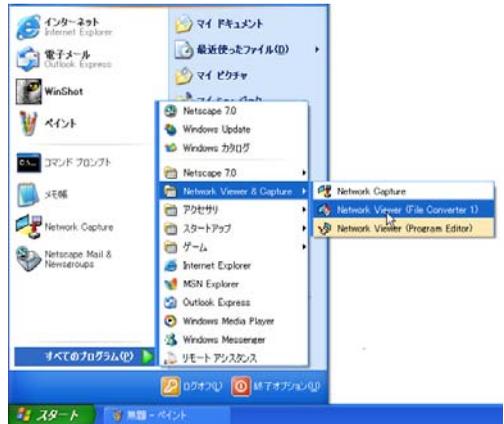
[1] Network Viewer (File Converter 1)の使用方法

File Converter 1は、JPEGデータ、BMP(Bitmap)データからプロジェクターに投影可能なJPEGデータに変換するソフトウェアです。

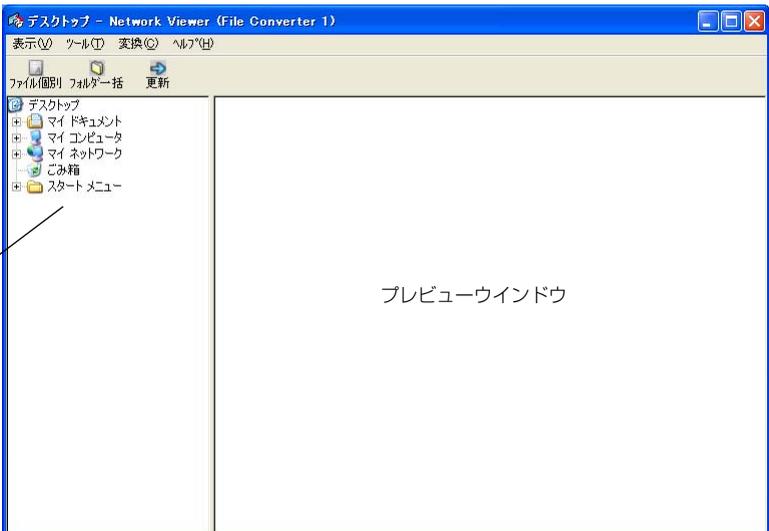
File Converter 1 の起動と終了

「スタート」メニューの「すべてのプログラム(P)」 - 「Network Viewer & Capture」から「Network Viewer (File Converter 1)」をクリックして起動します。

終了は、ウインドウ右上の[X]をクリックして終了します。



File Converter1のウインドウ

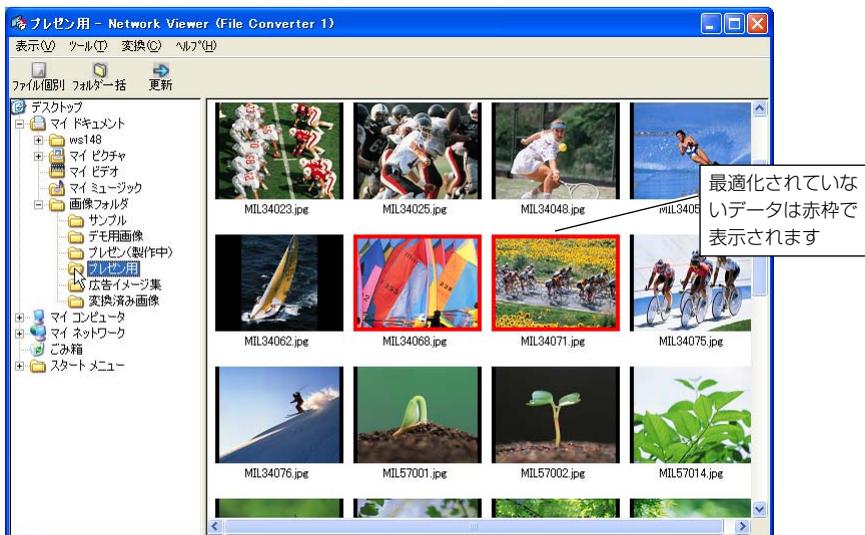


エクスプローラー
ウインドウ
画像フォルダをブ
ラウズします

プレビューウインドウ

変換の手順

- 1 エクスプローラーウインドウより、画像を保管しているフォルダを選択します。
 選択フォルダ内の変換可能な画像イメージ（JPEGファイル、BMPファイル）のプレビュー画像がプレビューウインドウに表示されます。
 ＊プロジェクター投映用に最適化されていないJPEGファイルやビットマップ(.bmp)ファイルは赤枠で表示されます。赤枠のない画像は一度最適化されたデータです。変換する必要はありません。但し、サイズや品質を変更する場合には再度変換処理を行ってください。
- 2 選択フォルダー括で変換する場合には「フォルダー括」をクリックします。
 ファイル個別で変換する場合には、プレビュー画像をクリックして選択した後、「ファイル個別」をクリックします。
 ＊複数画像の選択は「Shift」キーまたは「Ctrl」キーを押しながら画像をクリックします。



- 3 確認ウインドウが表示されますので、変換対象と変換方法を確認し、「OK」をクリックすると、変換処理が行われ、出力先に変換後の画像データが作成されます。
 ＊変換方法や出力先を変更する場合には、「変更」をクリックします。変換モードの指定は次項をご覧ください。



変換モードの設定

前ページのステップ3で「変更」をクリックすると、以下のオプション設定ウインドウが表示されます。



変換方法(T) :

- フィット：画像の横幅または高さのいずれかがスクリーンの最大になるように変換します
- 両端揃え：画像の幅をスクリーンの横幅に合わせて変換します
- 天地揃え：画像の高さをスクリーンの高さに合わせて変換します
- 切り取り：画像の大きさに関わらず、スクリーンの投射サイズで切り取ります。切り取りのモードは以下の通りです



* 画像を原寸で切り取る場合にはこのモードを選択します。各モードをクリックして選択します。

画像品質：(Q)：画像の変換品質を高、中、低、で指定します。

その他のメニュー項目

- 表示：プレビューサイズ(P)：大、中、小のプレビューモードを設定します。
- ツール：オプション(O)...：変換時のデフォルトのモードを設定します



[2] Network Viewer (File Converter 2)の使用方法

File Converter 2 は、文章作成ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他アプリケーションソフトで作成した書類からプロジェクター投映用のJPEG画像データに変換するためのプリンタドライバです。「印刷」メニューのあるアプリケーションであれば殆どの書類をJPEGファイルとして書き出す（変換）ことが可能です。

変換の手順

- 1 作成元のアプリケーションで書類を開きます。
- 2 「ファイル」 - 「印刷」サブメニューを選択し、印刷ダイアログウィンドウを表示させます。ウィンドウからプリンタの選択項目で、「Network Viewer (File Converter 2)」のアイコンを選択し、「印刷(P)」をクリックします。



* 必要であれば、「詳細設定」でページレイアウトや用紙設定のオプションを設定します。

- 3 保存先を指定して「保存」をクリックします。



- * ファイル名はImage001が初期設定で設定されています。複数ページある場合は001から最大999まで連番で番号付けされます。
- * 画像品質や変換方式もここで設定します。詳細な説明は「変換モードの設定」をご覧ください。(p.69)
- * 画像データによっては変換後の画像の周囲に白い枠が付く場合があります。

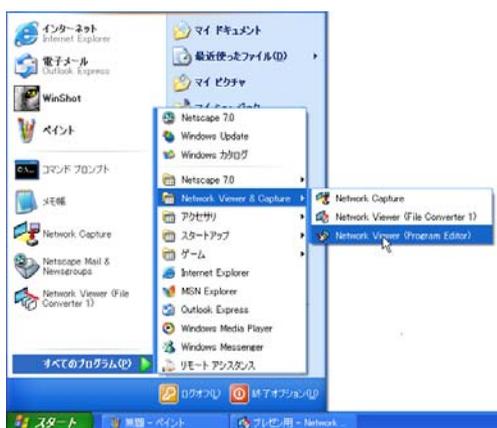
* 上記変換の手順はコンピュータの環境やアプリケーション毎に異なります。

プログラムファイルを作成する [Program Editor]

Network Viewer(Program Editor)は、ファイルサーバー(ftpサーバー) に保管しているJPEG画像ファイルをフォルダ単位で指定あるいは再生する順番を規定したプログラムファイルを作成するツールです。Program Editorは接続したftpサーバーのログインルートディレクトリに「DispParam」フォルダを作成し、このフォルダ内に各々のプログラム名でファイルを作成します。このファイルをプログラムと呼びます。Network Viewer 機能を使用して、Webブラウザよりこのプログラム名を選択することによって、プロジェクターで投射する画像と順序をプログラムすることが可能です。

プログラム作成手順

- 1 「スタート」メニューの「すべてのプログラム(P)」 - 「Network Viewer & Capture」 から「Network Viewer (Program Editor) 」をクリックして起動します。
- 2 「接続」をクリックします。



- 3 接続設定ウィンドウが表示され、項目をそれぞれ入力し、「OK」をクリックします。

ホスト名: ftpサーバー名を入力します。

ルートディレクトリ(R): ftpサーバーの接続先ディレクトリを指定します。通常は "/" を入力します。

ユーザID(U): ftpサーバーのログインアカウント名を入力します。入力しない場合にはftpサーバーで設定された anonymousアカウントとしてログインできます。

パスワード: ユーザID用のパスワードを入力します。anonymous アカウントでログインする場合にはパスワード不要です。



重要

ftp サーバーのログインディレクトリのアクセス権は書き込み許可のモードに設定する必要があります。読み込み可のみの設定では「DispParam」フォルダが作成できませんので、エラーになります。

接続設定ウィンドウが消え、接続したftpサーバーのディレクトリにプログラムファイルがある場合には、プログラムリストにプログラム名がリストされます。

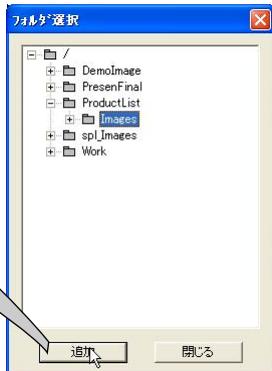
4 「新規(N)」をクリックします。

5 プログラム名を入力し、「追加(A)」をクリックします。



変更(C) : 内容変更ウィンドウが表示されます
 削除(R) : リストからプログラムを削除します

6 フォルダ選択ウィンドウが表示されますので、投映用JPEGデータを保管したフォルダを選択した後、「追加」をクリックし、フォルダリストに登録します。



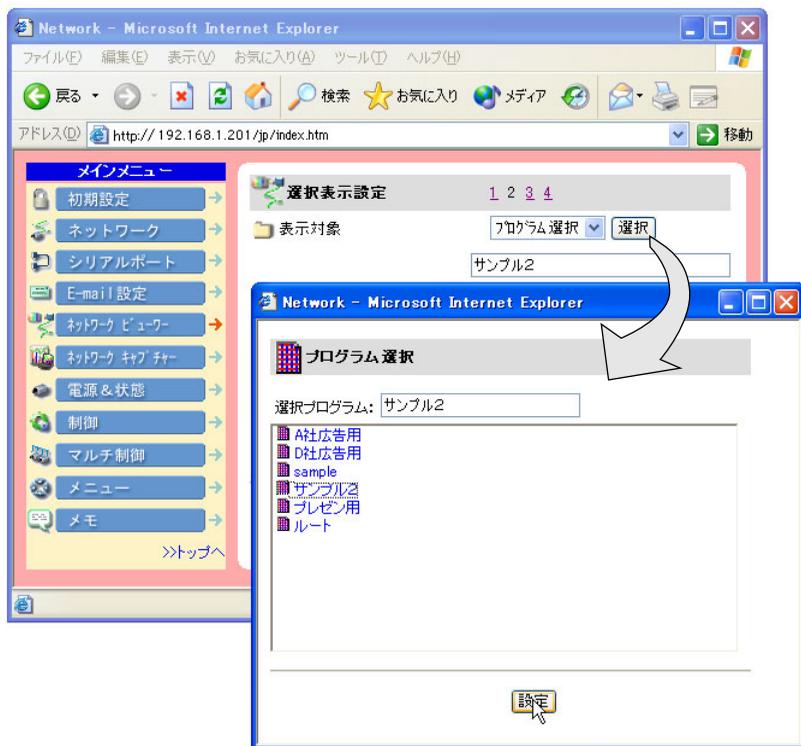
追加(A) : 追加するフォルダ選択ウィンドウを表示します
 削除(D) : フォルダリストから選択しているリストを削除します
 UP(U) : 選択項目を1段上げます
 DOWN(O) : 選択項目を1段下げます

* 投映順は上記フォルダリストのリスト順になります。順番を変更するには、「UP」、「DOWN」ボタンを使用して、フォルダリストの順番を変更します。
 * 作成したプログラムはftpサーバーのログインルートディレクトリの「DispParam」フォルダに各々保存されます。DispParamフォルダは自動的にプログラムによって作成されます。

7 「登録(R)」をクリックし、プログラムにフォルダリストを登録します

8 「閉じる」をクリックしてアプリケーションを終了します。

Web ブラウザを使用し、プロジェクターの設定画面にアクセスします。メインメニューより「ネットワークビューワー」をクリックし、上記で保存したファイルサーバーを指定して、接続し、上記プログラム名を選択して、プロジェクターに画像を投映します。詳細な設定・操作方法は「ネットワークビューワー機能を使う」(p.74)をご覧ください。



プログラムファイル作成制限について

作成するプログラムファイルについては以下のように各種制限があります。ご注意ください。

- * ルートフォルダのプログラム数 1000個以内
- * プログラムのフォルダ数 100個以内
- * フォルダ(パス)の文字数 半角255文字以内
- * プログラムファイル名長 半角63文字以内
- * "." (ピリオド)で始まるプログラム名を付けないこと
- * "¥ / ; ; * ? " < > | " を含むプログラム名を付けないこと
- * 半角スペースで始まるプログラム名はスペースを取り除いて登録されます

ネットワークビューワー機能を使う

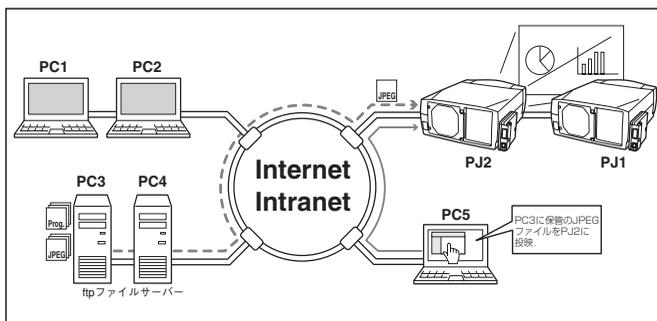
ネットワークビューワーとは、ネットワーク上に配置されたファイルサーバーから、ネットワークを介してプロジェクターに投射するJPEG画像データを取得し投射する機能です。投射する画像データはフォルダ単位で指定します。表示期間や繰り返し回数を設定可能です。また、これらをプログラムとして登録し利用することが可能です。

* ネットワークキャプチャー機能使用中はネットワークビューワー機能を使用できません。

ネットワークビューワー機能利用条件：

- * Windows2000 ProfessionalまたはXP Professional のftpサービスが利用可能であること
- * ftpサーバーにフルアクセス権を持つアカウントがあること、もしくは、ftpサーバーが anonymous アカウントを許可すること
- * ftpサーバーの同一IPアドレスからの同時接続数制限が20以上であること

[1] Web ブラウザから操作する



プロジェクターの入力モードに「ネットワーク」を選択しておきます。

1 Web ブラウザを使用し、プロジェクターの設定画面にアクセスします。メインメニューより「ネットワークビューワー」をクリックし設定画面を表示します。

2 画像表示設定ページ[1]の設定を行います。

- ホスト名 : ftpサーバーの名称を入力します。 yourftp.server 等
 フォルダパス : 通常は"/" (ルートディレクトリ) を入力しますが、サーバーに指定のディレクトリがある場合には、以下のように"/"に続けてディレクトリ名を入力します。
 /data/ *例えば dataディレクトリの場合
 ユーザーID*1 : anonymousの場合には空欄でも可です。
 パスワード*1 : anonymousの場合には空欄でも可です。
 オプション*1 : ブラウザでプレビュー表示するには「画像表示オン」を選択します。

3 マルチ表示するか単独で表示するかを選択します。「マルチ表示」をオンに設定すると、第6章のマルチ制御の対象として登録したプロジェクターで同じ画像を表示します。(※ p.81-p84)

4 選択表示設定ページ[2]の設定を行います。

表示対象 : フォルダ指定かプログラム指定かを選択します。
 *表示可能な画像は最大1000個までです。
 *プログラムについては6項「画像表示プログラム新規登録ページ」で説明します。(※ p.77)
 リスト表示形式 : ファイル名一覧でリスト表示するか、サムネイルで表示するかを選択します。
 「確認」をクリックすると選択したフォルダ、またはプログラムの画像リストが選択リスト表示形式に応じて表示されます。
 ラジオボタンを押すと、選択した画像がプロジェクターで映射され、この画像が次ページの自動表示での開始画像となります。

* ファイルの表示順はファイル名のASCII文字順になります。

*** 1 重要なお知らせ**

anonymous アカウント以外の個別のアカウントでログインした場合、オプション項目を「画像表示オン」に設定すると、画像リンク先アドレス情報としてユーザーIDとパスワードがブラウザ上に表示されます。ご注意ください。通常は anonymous アカウントで本機能をご使用することをお勧めします。

5 自動表示設定と制御ページ[3]



自動制御 : 表示期間 (3~ 240秒)、
繰返し回数 (1~ 999回)
*0回で無制限繰返し
テキストエリア内に表示状況が表示されます。

- 「開始」 : 自動画像再生の開始
- 「終了」 : 自動画像再生の終了
- 「停止」 : 画像再生の一時停止
- 「<<」 : 前画像の表示
- 「>>」 : 次ぎ画像の表示
- 「エラー」 : ファイルエラーが発生した場合の詳細情報の表示

*自動表示中にファイルエラーが発生した場合、メールにて警告メッセージを送信することが可能です。
詳細については、「警告メールを送信する条件選択」の項目を参照してください。(※ p.37)

*エラー情報

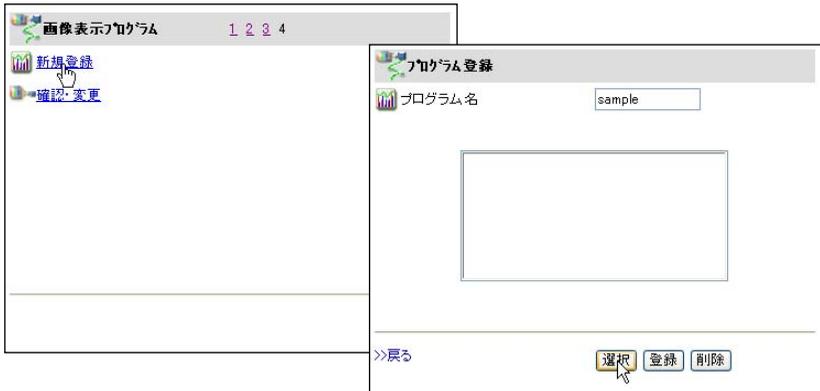
- “ファイルエラー” : 画像ファイルをftpサーバーから取得できなかった場合に表示されます。
マルチ制御中では、制御元のプロジェクターの電源がOFFされた場合にも表示されます。
「エラー」をクリックして詳細を確認してください。
- “接続エラー” : マルチ制御でネットワークビューワー、または、キャプチャー機能を利用している場合に発生する場合があります。詳細な情報は「マルチ制御/確認・変更」項目で確認します。(※ p.83, p.84)

ご注意

- *表示期間はネットワークの環境やマルチ制御の動作によって大きく影響されます。従い、指定期間通りに画像表示されない場合があります。
- *プロジェクターの投映画面とWeb ブラウザ上のプレビュー画面の切り替わりタイミングは同じではありません。

6 画像表示プログラム新規登録ページ[4]の操作

1. 新規登録をクリックする
2. プログラム名を入力し「選択」をクリックする



3. フォルダ選択ウィンドウより、画像データを保管しているフォルダを選択し、「追加」をクリックする。複数個ある場合には、それぞれのフォルダを選択し、「追加」をクリックし登録する。

完了後、「閉じる」をクリックします。

4. テキストエリア上に追加したフォルダパスのリストが表示されていることを確認する。

削除する場合には、フォルダパスを選択後、「削除」をクリックして削除する。

* フォルダパスリストは作成順にリストされます。この順番で画像が再生され、順番を変えことはできません。変更する場合には、Program Editor を使用します(※ p.71)。

* 追加可能なフォルダパスは最大100個です。



5. 「登録」をクリックして登録します。

* 登録可能なプログラムは最大1000個です。

重要

ftp サーバーのログインディレクトリのアクセス権は書き込み許可のモードに設定する必要があります。読み込み可のみの設定では「DispParam」フォルダ(※ p.71)が作成できませんので、エラーになります。

7 プログラム確認・変更ページ[4]の操作

1. 作成しているプログラム内容の確認と変更は「確認・変更」をクリックします。

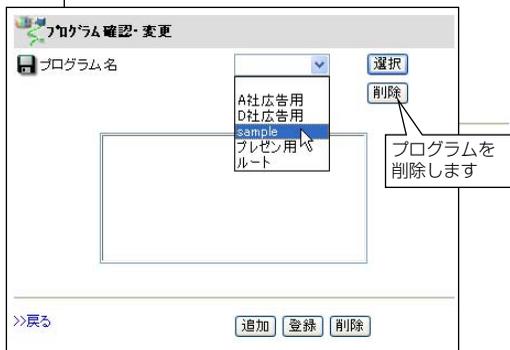
2. プログラム名のプルダウンメニューより確認、或いは変更したいプログラム名を選択します。

* 削除する場合には「削除」をクリックします。

* 内容確認、変更する場合には、「選択」をクリックすると、選択したプログラムの登録フォルダパスがリストされます。

3. 新しく画像を保管しているフォルダをこのプログラムに追加する場合には、「追加」をクリックし、追加するフォルダを追加します。

* 削除する場合には、削除したいフォルダパスリストを選択した後、「削除」をクリックします。



4. プログラム内容の編集完了後、「登録」をクリックして内容を更新します。

「>>戻る」をクリックし前ページに戻ります。



* 画像の表示順は登録したフォルダパスの順番になります。フォルダ内の表示順は、ファイル名のASCII文字順になります。

* 登録フォルダパスの順番を変更するには、[Program Editor]で行うことができます。(※ p.71)

[2] プロジェクターから操作する

プロジェクターの入力モードに「ネットワーク」を選択しておきます。

1 プロジェクター本体、または、リモコンの「MENU」ボタンを押し、メニューバーを表示します。

2 ポイントボタン (◀/▶) を使用して「ネットワーク設定」アイコンを選択し、「SET」を1回押し「オン」になっていることを確認します。

3 「Network Viewer」アイコンをポイントボタン (▲/▼) を使用して選択し、「SET」ボタンを押します。

4 投映する画像の表示期間や繰り返し回数を設定する場合には次のように設定します。

自動表示設定：「Auto」を選択し「SET」ボタンを押し、表示期間「秒」と回数「回」をポイントボタンを使用して入力します。

手動表示設定：「手動」を選択し「SET」ボタンを押します。

5 「接続」を選択して「SET」ボタンを押します。

プロジェクターはファイルサーバーより画像をダウンロードし、スクリーンに投映を開始します。

*自動再生モード[Auto]を選択した場合、リモコンの右クリックボタンを押すと、自動再生を停止し手動再生に切り替わります。左クリックボタンを押すと、自動再生を開始します。

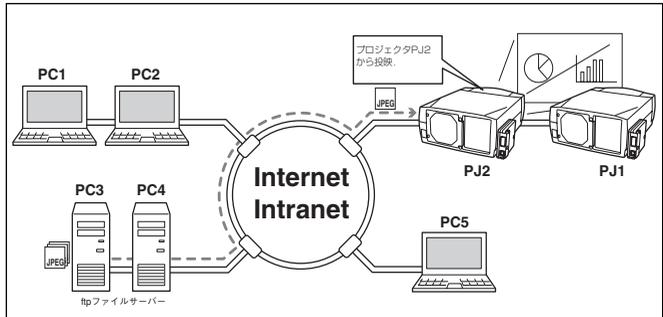
*画像再生時にリモコン、またはセット本体のポイントボタン (▲/▼) を使用して画像表示の送り/戻りを手動で操作可能です。

6 ファイルサーバーから切断する場合には「切断」を選択し、「SET」ボタンを押します。

*この機能で使用される画像データは、Network Viewer機能を最後に使用した時のプログラム、或いはフォルダが使用されます。プロジェクター側からファイルサーバーや画像ファイルを指定できません。

*繰り返し回数は1～255回まで設定可能、「∞」はエンドレス再生を表します。

*表示期間は3～240秒まで設定可能です。但し、表示期間はネットワークの環境やマルチ制御の動作によって大きく影響されます。従い、指定期間通りに画像表示されない場合があります。



6

第6章 複数のプロジェクターの管理

28ページの手順に従って、プロジェクターの設定画面にログインして、メインメニューを表示してください。



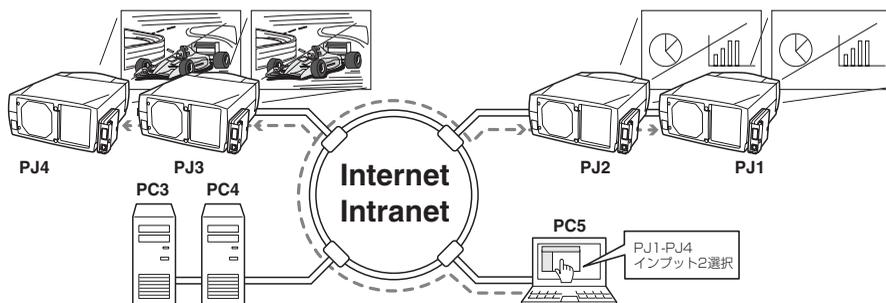
マルチ制御

本製品を取り付けたプロジェクターを、複数台ネットワークに接続している場合、それらのプロジェクターを一括してコントロール（電源・イメージ調整・日付／時刻・タイマー設定・スクリーン設定など）および、同一画像を一齐に表示することができます。メインメニューの「マルチ制御」をクリックして設定画面を表示します。

【ご注意】 複数のプロジェクターを管理するには、それぞれのプロジェクターには同じパスワードが設定されている必要があります。



マルチ制御使用例



IPアドレス・プロジェクター名の登録

マルチ制御するプロジェクターのIPアドレスを登録します。設定画面の「プロジェクター登録」をクリックし、登録ページを表示します。IPアドレスとプロジェクター名を入力し、「登録」ボタンをクリックします。



プロジェクターの登録

IPアドレス

プロジェクター名

マルチ制御項目

[確認](#)

>>戻る

IPアドレス・プロジェクター名の確認

登録されているプロジェクターを確認するには「確認・変更」をクリックします。右のように登録されているプロジェクターの情報がリストされます。

* プロジェクター名を使用しない場合には、「未設定」が表示されます。

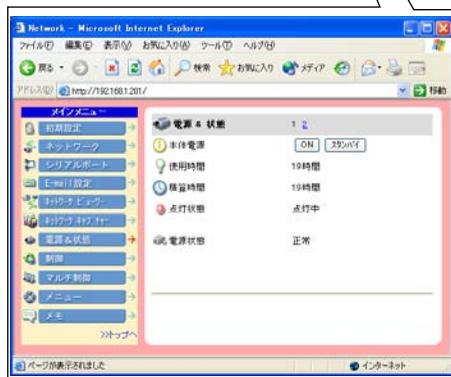


切り替え

プロジェクター名	IPアドレス	制御	画像
TheaterNo1	192.168.0.100	制御 ON	画像 ON
TheaterNo2	192.168.0.200	制御 ON	画像 ON
ShowRoom2F	192.168.100.5	制御 ON	画像 ON
ShowRoomB1	192.168.100.201	制御 ON	画像 ON
Demo Room	192.168.200.	制御 ON	画像 ON

> プロジェクター名

リストされるIPアドレスをクリックすると、新しいウィンドウが表示され、選択したプロジェクターのログイン画面が表示されます。同様に、このプロジェクターのパスワードを入力し、ログインします。



ご注意

- マルチ制御するプロジェクターは100台まで登録できます。
- 通常、プロジェクターはIPアドレスでネットワーク内で認識されます。本製品では、IPアドレスの代わりに、ニックネームをプロジェクターに付けることができます。建物名や会議室名をニックネームとしてプロジェクター名に登録することで、簡単に認識、管理することが可能です。また、このニックネームはDNSサーバーに登録したホスト名を使用することをお勧めします。詳細につきましてはネットワーク管理者にご相談ください。

マルチ制御の対象から除外・追加・削除する

マルチ制御の対象のモードを変更する場合には、対象のプロジェクターの IP アドレス下のプルダウンメニューからモードを選択した後、「設定」ボタンをクリックします。

モード 動作

制御・画像ON*画像の表示と制御を受け付けます
 制御 ON制御対象にします
 画像 ON*画像を表示します
 OFF対象から除外します
 削除リストから削除します



* 「画像ON」、「制御・画像ON」にセットされたプロジェクターはネットワークビューワー機能時に、ネットワークを通じ画像を表示します。

状態表示

登録しているプロジェクターの何台かが何らかの理由でアクティブでない場合には（プロジェクターに電源が接続されていない、LANケーブルが接続されていない、ネットワークから切り離されているなど）、アクティブなプロジェクターのみに設定の変更が有効になります。同時に、マルチ制御に設定されたリストからはそのプロジェクターは除外され、それぞれの状態が表示されます。状態については以下の表をご覧ください。



状態表示 説明

(ブランク)正常に接続されています
 未接続ネットワークに接続されていません。当該プロジェクターの接続を確認してください
 パスワードエラーマルチコントロールするプロジェクターのログインパスワードが現在アクセスしているプロジェクターと異なります。当該プロジェクターのパスワードを変更してください
 画像表示エラー画像表示できていません。当該プロジェクターがネットワークキャプチャー、またはネットワークビューワー機能を使用中でないか、もしくは、スタンバイになっていないか確認してください

ご注意

- マルチ制御の対象となるプロジェクターがスタンバイ状態の場合、コントロール項目に対する設定の変更は無効となります。ただし、タイマー設定は有効です。
- マルチ制御する場合には、特定の1台のプロジェクターを設定用としてご使用することをお勧めします。プロジェクターそれぞれにマルチ制御の設定はしないでください。管理が非常に複雑になります。
- 登録したプロジェクターがネットワークに接続されていない場合には、マルチ制御の応答に時間がかかります。これは、登録されたプロジェクターの応答を待っているためです。

制御

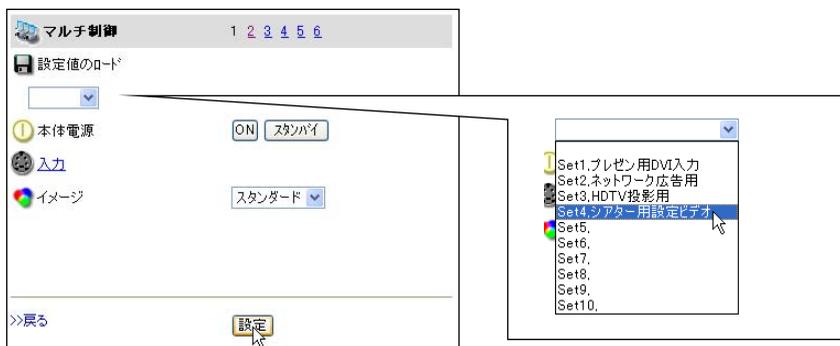
マルチ制御画面の「マルチ制御」をクリックし、制御ページを表示します。

マルチ制御の設定画面は[1]～[6]ページより構成されています。各々のページは次ページに記載しています。



設定値の読み出しと適用

マルチ制御で適用される設定セットは、「制御」項目の「保存」サブメニューより設定したものです。(p.56) 「設定値のロード」項目のプルダウンメニューよりセット番号を選択し、「設定」ボタンをクリックします。各々のプロジェクターに保存されている選択したセット番号の設定値が適用されます。同一の設定値がすべてのプロジェクターに適用されるものではありません。



複数のプロジェクターを同時にコントロールする

個々のコントロール項目は以下の通りです。設定方法や詳細な説明は「プロジェクターの管理」(p.39)の項目を参照してください。それぞれの項目の設定ボタンを押すと、マルチコントロールの対象として登録されているすべてのプロジェクターは、同時にコントロールされます。

* これら項目は選択している信号、或いは、ご使用のプロジェクターの機能によって変わります。

マルチ制御 1 2 3 4 5 6

アスペクト

言語

フルバック

>>戻る

マルチ制御 1 2 3 4 5 6

オンスクリーン表示

LOGOロゴ

天吊り

リア投映

ブランク

フリーズ

>>戻る

マルチ制御 1 2 3 4 5 6

パワーマネージメント

分

オンスタート

ラップモード

リモコンコード

アナモフィック

キーロック

>>戻る

マルチ制御 1 2 3 4 5 6

時刻設定

現在時刻

2003/04/09(水) 14:42

日付(年/月/日)

時刻

>>戻る

マルチ制御 1 2 3 4 5 6

現在時刻

2003/04/09(水) 14:43

タイマー設定

毎日

2003/04/09

[タイマー確認](#)

>>戻る

7

第7章 シリアルポートの使用

28ページの手順に従って、プロジェクターの設定画面にログインして、メインメニューを表示してください。



本製品はシリアル通信端子(RS-232C)を備えています。この端子にシリアル通信端子を持つ外部機器を接続することで、ネットワークを介して接続した機器のコントロール、及び、シリアル通信機器を使用してプロジェクターのコントロールを行うことができます。外部機器との通信をする前に、以下の「シリアルポートの設定」を行ってください。

シリアルポートの設定を行う

ここでは、本製品の外部シリアルポートの設定を行います。メインメニューの「シリアルポート」をクリックすると、以下の設定画面が表示されます。

接続した外部機器との通信を正常に行うには、接続した機器のシリアルポートの設定と同じである必要があります。設定値を決定後、「設定」ボタンをクリックします*1。



項目	説明
スピード	シリアル通信の通信スピードです。プルダウンメニューから選択します
パリティ	パリティチェック、データの誤りを検出する方式です
ストップビット	通信の終了を表すビットです
ハードウェアフロー	通信フローの方式です
データ長	1 データの長さを選択します
シリアル制御	コントロールする機器を選択します 外部機器 シリアルポートに接続された外部機器をネットワーク経由でコントロールする場合に選択します プロジェクター シリアルポートに接続したシリアルコントローラを使用してプロジェクターをコントロールする場合に選択します
ポート番号	TCP/IPのポート番号を指定します。初期値では23です。ご使用するアプリケーションが使用するポートと同じ番号を指定します。また、このポート番号には予約されているポート番号*2があります。もし、これらの予約ポート番号を指定した場合は、無効なポート番号として警告ダイアログが画面に表示されます

シリアルポートに接続した外部機器をコンピュータからコントロールする場合の設定

- シリアル制御 : 「外部機器」を選択する
 ポート番号 : コンピュータのセッティングに合わせる。10000番は使用しない*2
 その他の設定 : 外部機器の通信条件に合わせる

シリアル制御	外部機器
ポート番号	外部機器 プロジェクトター

シリアルポートに接続したシリアルコントローラからプロジェクターをコントロールする場合の設定

- シリアル制御 : 「プロジェクター」を選択する
 ポート番号 : 指定無し。但し、10000番は使用しない*2
 その他の設定 : シリアルコントローラの通信条件に合わせる

シリアル制御	プロジェクター
ポート番号	外部機器 プロジェクトター

LANポートを使用してコンピュータからプロジェクターをコントロールする場合の設定

- シリアル制御 : 「外部機器/プロジェクター」どちらでもよい
 ポート番号 : 指定無し
 その他の設定 : 指定無し

シリアル制御	外部機器
ポート番号	23

* コンピュータ側のポート番号は常に10000番を使用してプロジェクターにアクセスします。

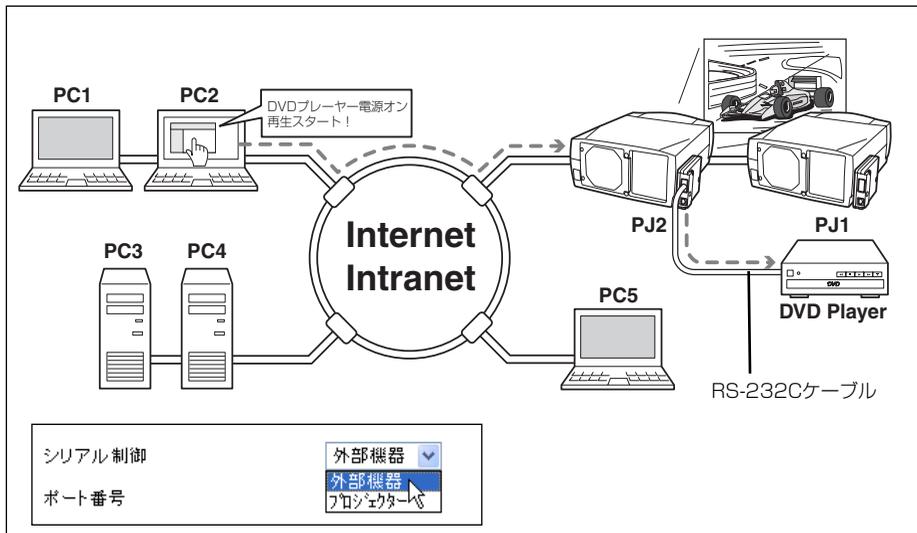
ご注意

- * 1 「ポート番号」、「シリアル制御」を変更した場合、本製品は自動的にログアウトし、再起動を行います。
- * 2 ポート番号にはプロトコル毎にhttp(80), ftp(21), telnet(23)等が予約されています。10000番はプロジェクターをコントロールする場合に使用するように予約されています。
- ☞ RS-232Cシリアルケーブルはノーマルタイプとリバースタイプの2種類あります。通常、本製品とコンピュータ、またはプロジェクターを接続する場合は、リバースタイプを使用します。DVDプレーヤなどの周辺機器を使用する場合には、ノーマルタイプを使用します。
- ☞ コンピュータでコントロールするには、専用のドライバーソフトが必要です。本製品にはこのドライバーソフトは付属していません。お買い上げ販売店にご相談ください。

コントロール例

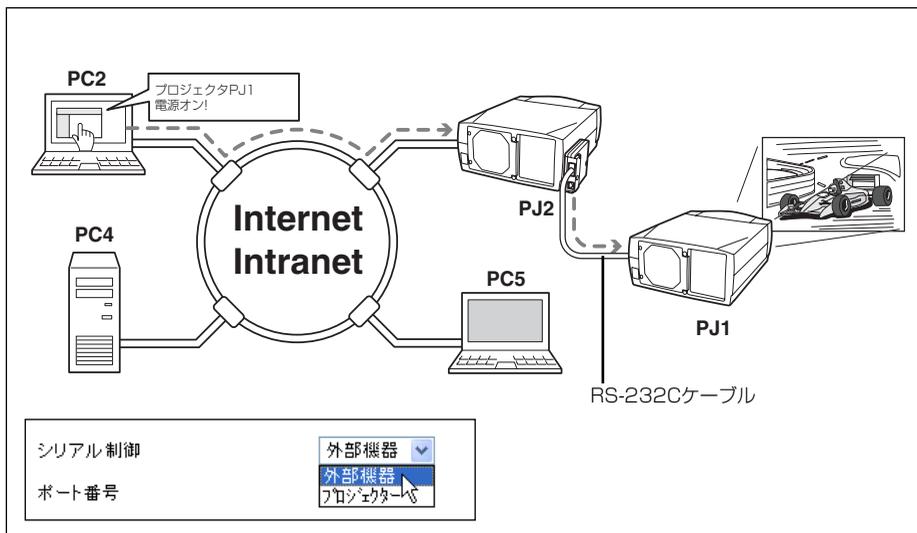
コントロール例 1

AV機器をネットワークを介してコントロールする。



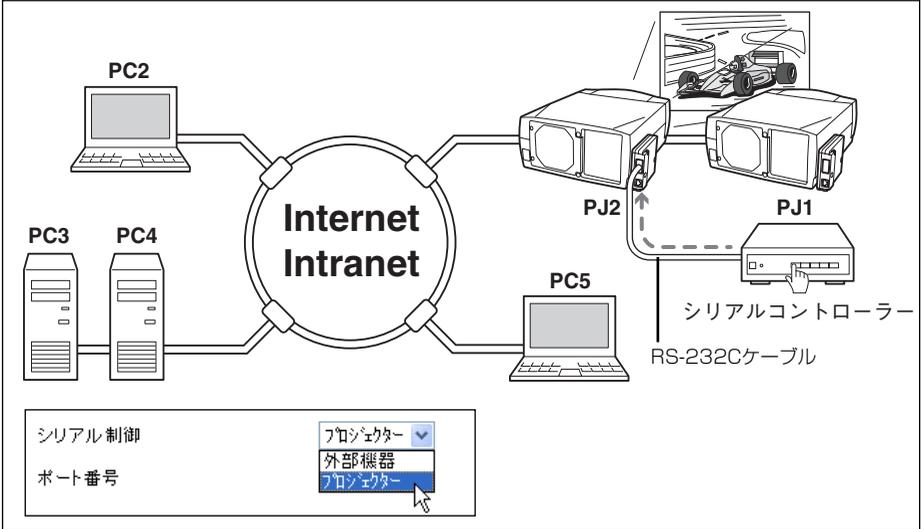
コントロール例 2

ネットワーク非対応の 프로젝ターをネットワークを介してコントロールする。



コントロール例 3

シリアルポート (RS-232C) を介して、シリアルコントローラでプロジェクターをコントロールする。



ご注意

本製品と周辺機器を接続する場合には、シリアルケーブルの種類にご注意ください。本製品のシリアルポートの極性は、リバース（クロス）用に設定されています。周辺機器を接続する場合には、接続する機器のポートの極性に応じて適切なシリアルケーブルをご使用ください。詳細なピン配置は104ページのポート仕様をご覧ください。

TELNETを使う

コンピュータのTELNET*1機能を利用して本製品の外部シリアルポートに接続した機器のコントロール、及び、プロジェクター自身をコントロールすることが可能です。以下の例では、TELNETを使用して外部機器をコントロールする例を説明します。TELNETアプリケーションは、外部機器を制御するためのコマンド*2を使用するために必要です。Windowsでは標準で利用可能です。

準備

- 1 プロジェクターの主電源を切り、シリアルポートに外部機器を接続します。
- 2 プロジェクターと外部機器の電源を入れます。
- 3 Web ブラウザを使用し、シリアルポート設定画面を表示します。(☞ p.88)
- 4 シリアルポートの通信設定を接続した外部機器の通信条件と同じ設定に変更し、「設定」ボタンをクリックします。(☞ p.88)

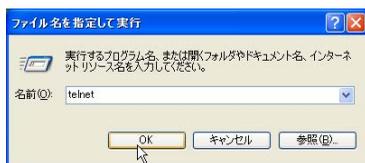
ここでは当社プロジェクターをシリアルポートに接続し、このプロジェクターを操作する例を説明します。以下のように設定します。

スピード	19200
パリティ	なし
ストップビット	1
ハードウェアフロー	なし
データ長	8
シリアル制御	外部機器
ポート番号	23

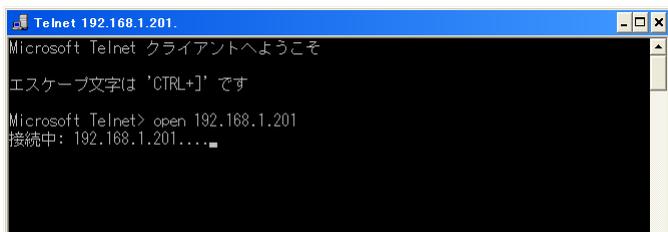
コントロールする

(Windows XP professionalのTelnet機能を使用した場合を例に説明します)

- 1 コンピュータの「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行(R)...」を選択します。表示されたウインドウの「名前(O):」に「telnet」と入力し、「OK」をクリックします。

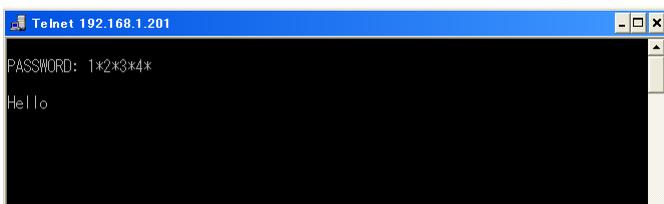


- 2 telnet アプリケーションが起動し、以下のウインドウが表示されます。プロジェクターに接続するために以下のようにタイプします。
> open192.168.1.201 改行



*IPアドレスはプロジェクターに設定されたアドレスを入力します。

- 3 正常に通信が確立すると、以下のウィンドウに「PASSWORD:」が表示されるので、プロジェクターに設定したログインパスワード*3を入力し、「Enter」キーを押します。プロジェクターにパスワードを設定していない場合には、そのまま「Enter」キーを押します。ログインが成功すると、ウィンドウに「Hello」が表示されます。



*パスワード「1234」
を入力した例

- 4 外部機器をコントロールするコマンドをキーボードより入力し「Enter」キーを押します。ここではプロジェクターの電源を入れるコマンド「COO」*4をタイプし、「Enter」キーを押します。
- シリアルポートに接続されたプロジェクターの電源が入ります。

接続を切断するには、「Ctrl」キーを押しながら「]」キーを押します。

ご注意

- *1 TELNET アプリケーションについての詳細な使用方法につきましては、コンピュータのオンラインガイドなどをご覧ください。
- *2 コマンドは接続する機器独自に定義されています、詳細な情報につきましては、ご使用の機器のメーカーへお問い合わせください。
- *3 パスワードは22ページまたは32ページで設定したパスワードです。入力したパスワードの認証が4回連続して失敗すると、接続が切断されます。再度接続をやり直してください。
- *4 コマンド「COO」は弊社プロジェクターでは「電源を入れる」に定義されたコマンドです。

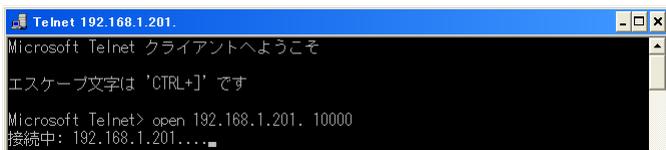
TELNET でプロジェクターをコントロールする

本製品はTelnet機能を利用して、プロジェクターをコントロールすることができます。通常はシリアル接続した外部機器をTelnet を使用してコントロールできますが、Telnet ポート 10000番を使用することで、プロジェクター自身をコントロールすることが可能になります。

***Telnetを使用する場合はプロジェクターのシリアルポート設定には依存しません。**

前ページのステップ2でIPアドレスの後に続けてポート番号 10000 を入力します。

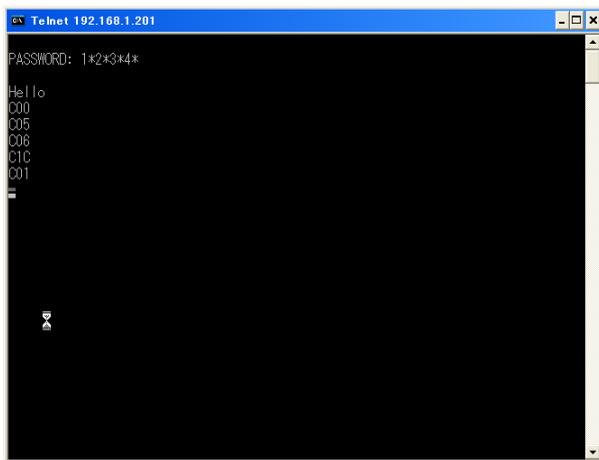
> open 192.168.1.201 10000 改行



*IPアドレスはコントロールするプロジェクターに設定されたアドレスを入力します。

通信が確立したら、同様にパスワードを入力します。プロジェクターをコントロールするコマンドをタイプしプロジェクターを制御できることを確認します。

本製品が対応するプロジェクターのコマンドの一例を以下のように記載します。その他のコマンドにつきましては、お買い上げ販売店にご相談ください。



コマンド	機能
C00	電源オン
C01	電源オフ
C05	インプット1
C06	インプット2
C07	インプット3
C08	ネットワーク
C09	音量アップ
C0A	音量ダウン
C0B	ミュートオン
C0C	ミュートオフ
C0D	ビデオミュートオン
C0E	ビデオミュートオフ
C1C	メニュー表示
C1D	メニュー非表示

プロジェクターの制御コマンド例

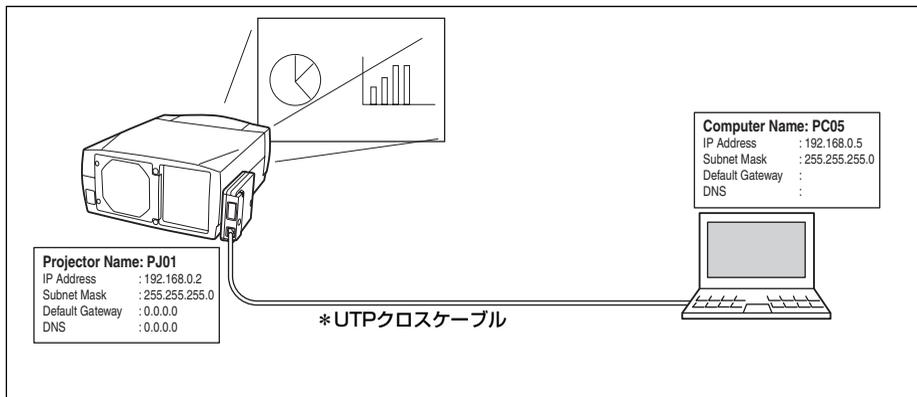
第 8 章 付録

8

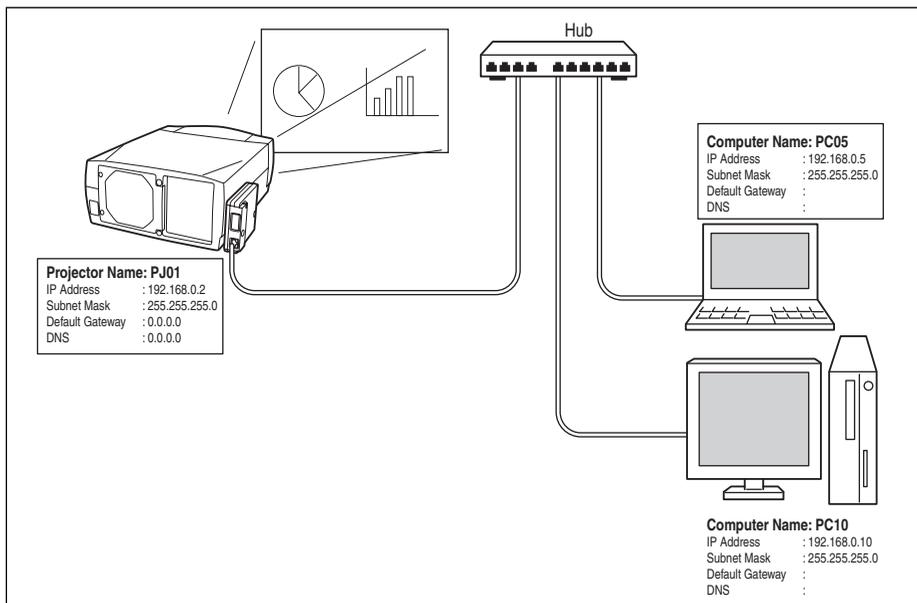
接続例

ピア・ツー・ピア接続

プロジェクター (PJ01) と操作用コンピュータ (PC05) を直接接続する。



プロジェクター (PJ01) と操作用コンピュータ (PC05) をハブを介して接続する。

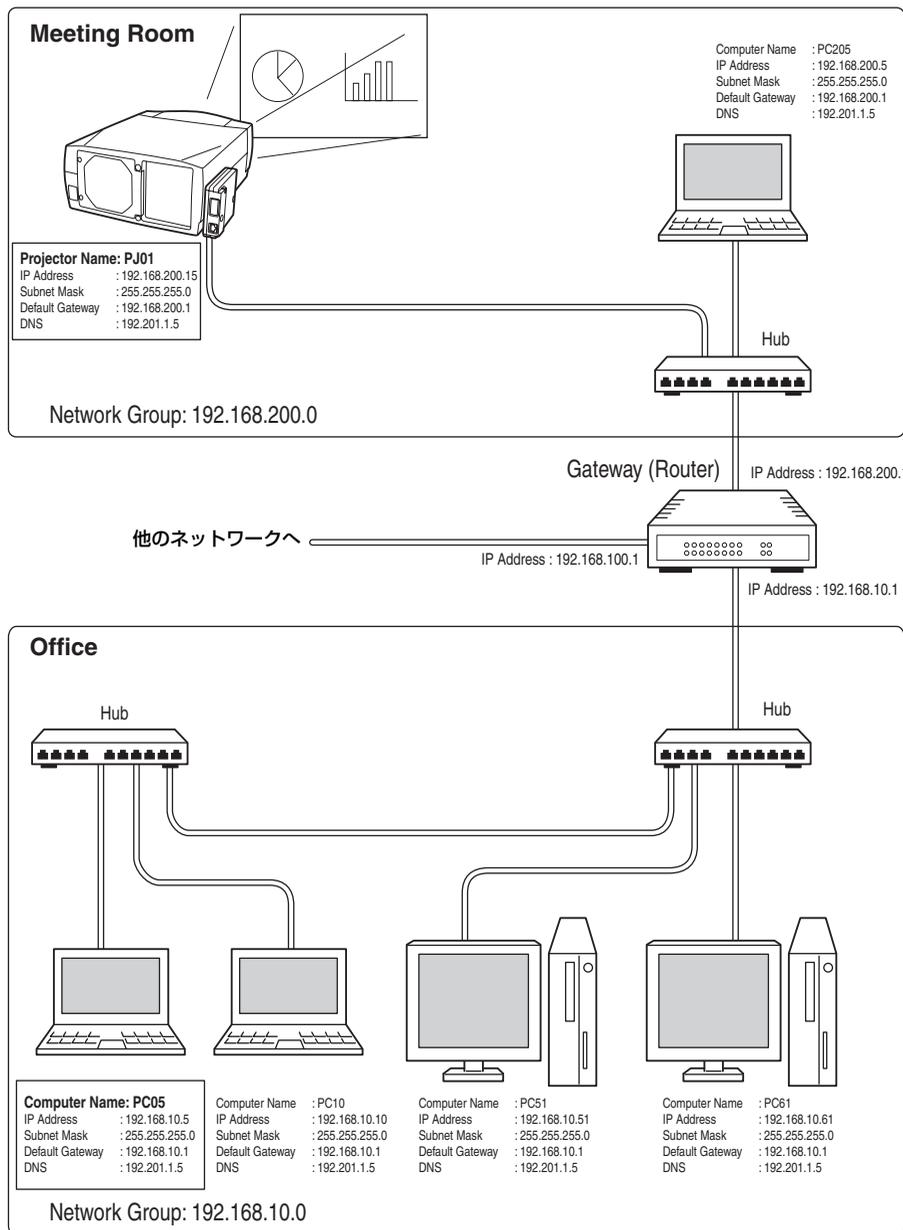


ご注意

ハブを使用しないで直接プロジェクターとコンピュータを接続する場合には、UTPクロスケーブルを使用します。それ以外ではUTPストレートケーブルを使用します。

ゲートウェイ（ルータ）を含む接続例

プロジェクター（PJ01）と操作用コンピュータ（PC05）をゲートウェイを介して接続する。



Web ブラウザの設定

本製品はWeb ブラウザを使用して各種プロジェクターの設定を行えるように設計されています。Web ブラウザの設定状態によっては、機能を充分利用できない項目もあります。以下2点の設定がWeb ブラウザに設定されていることを確認してください。

アクティブスクリプト/JavaScript を有効にする

本製品の設定ページには、Web ブラウザのJavaScript機能を利用している項目があります。もし、この機能を使用しない設定になっている場合、正常にコントロールを行えない場合があります。この場合画面上に以下のようなメッセージを表示してお知らせします。JavaScriptを有効にする方法は、次ページ以降の設定手順をご覧ください。



プロキシの設定

ご使用のWeb ブラウザによっては、インターネット/イントラネット接続にプロキシサーバーを介して接続するように設定されている場合があります。このような場合で、ローカルネットワーク内に本製品を設置した場合には、プロキシサーバーの設定を適切に行う必要があります。特に、クロスケーブルを使用して本製品とコンピュータを直接接続する場合や、プロキシサーバーを使用しないネットワーク環境では、「プロキシサーバーを使用しない」に設定されていることをご確認ください。次ページ以降の設定手順を参照ください。

ご注意

これらの設定手順は Web ブラウザの種類、バージョン、Windows OS によってそれぞれ異なります。次ページに設定例を記載しますが、これ以外のブラウザについては、それぞれのWeb ブラウザのヘルプをご覧ください。

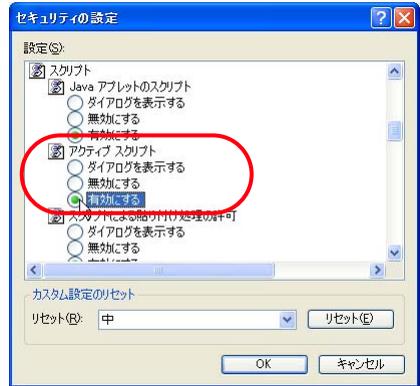
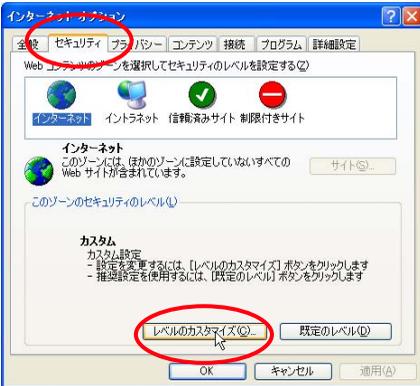
OS/ブラウザ個別設定例

Windows XP Professional の場合

Internet Explorer v.6.0 の場合

アクティブスクリプトの設定

Web ブラウザのメニューより、ツール/インターネットオプション/セキュリティ/レベルのカスタマイズボタンを選択します。以下のウィンドウのリストよりスクリプト/アクティブスクリプト項目の「有効にする」のラジオボタンが選択されていることを確認します。



プロキシの設定

Web ブラウザのメニューより、ツール/インターネットオプション/接続タブ/LANの設定ボタンをクリックします。以下のローカルエリアネットワーク (LAN) の設定ウインドウより、使用するプロキシサーバーの設定をプロジェクトターを設置したネットワーク環境に応じて適切に設定してください。

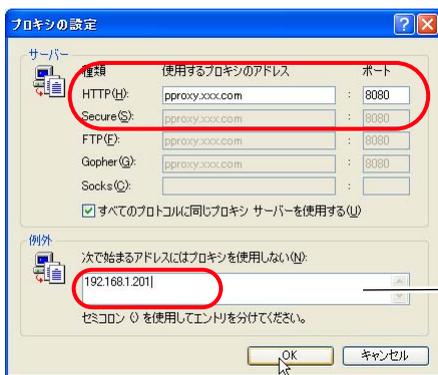
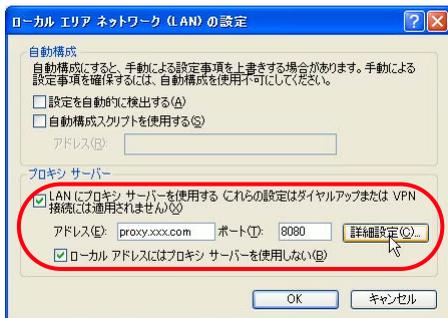
- プロキシサーバーを利用する場合

外部インターネット接続を利用する場合は、「プロキシサーバーを利用する」にチェックを入れプロキシサーバーのアドレス/ポートを設定します。詳細な設定方法につきましては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- プロキシサーバーを利用しない場合

(プロジェクトターとコンピュータを直接クロスケーブルで接続して使用する場合)

「プロキシサーバーを利用する」のチェックボックスのチェックを外します。チェックを入れたままではプロジェクトターにアクセスできません。

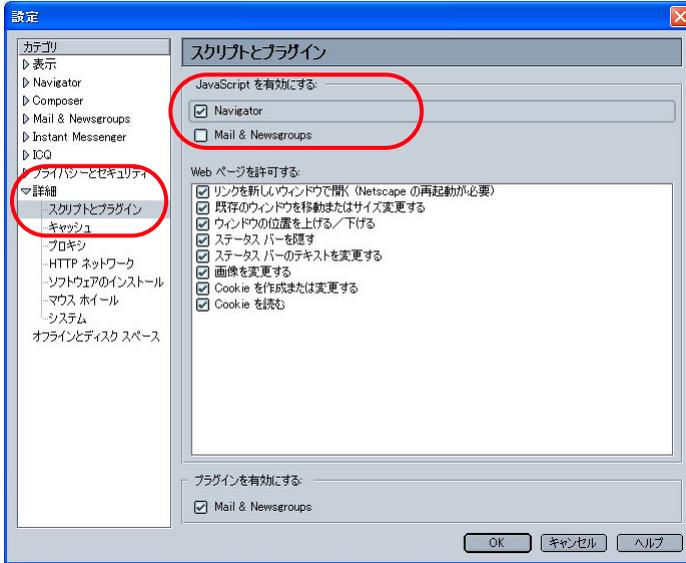


ローカルネットワークに設置されたプロジェクトターにアクセスする場合のみ、プロキシサーバーを介さないように設定するには、ここにそのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。

Netscape Navigator v.7.0の場合

JavaScriptの設定

Web ブラウザのメニューより、編集/設定を選択し、カテゴリ欄の「詳細/スクリプトとプラグイン」を選択します。スクリプトとプラグインウインドウより「JavaScriptを有効にする:」の項目のNavigatorのチェックボックスにチェックが入っていると確認します。



プロキシの設定

Web ブラウザのメニューより、編集/設定を選択し、カテゴリ欄の「詳細/プロキシ」を選択します。プロキシ設定ウインドウより、使用するプロキシサーバーの設定をプロジェクトターを設置したネットワーク環境に応じて適切に設定してください。

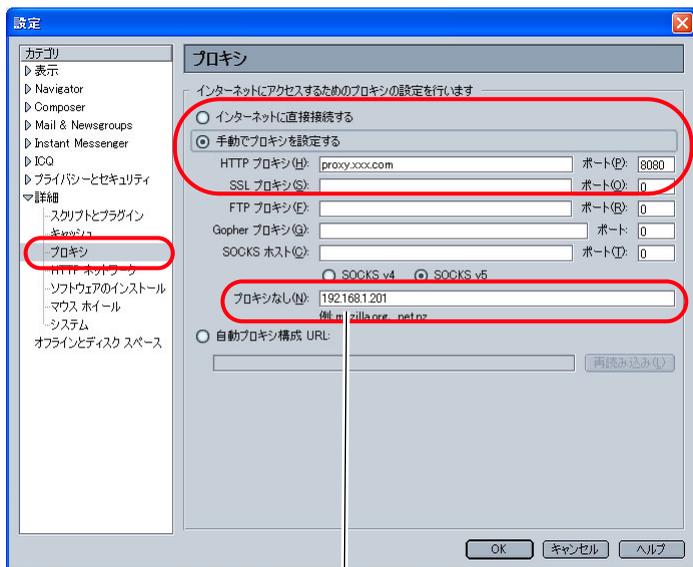
- プロキシサーバーを利用する場合

外部インターネット接続を利用する場合は、「手でプロキシを設定する」を選択し、HTTPプロキシ(H): にプロキシサーバーのアドレス及びポートを設定します。詳細な設定方法につきましては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- プロキシサーバーを利用しない場合

(プロジェクトターとコンピュータを直接クロスケーブルで接続して使用する場合)

「インターネットに直接接続する」項目を選択します。「手でプロキシを設定する」の項目を選択している場合は、プロジェクトターにアクセスできません。



ローカルネットワークに設置されたプロジェクトターにアクセスする場合のみ、プロキシサーバーを介さないように設定するには、ここにそのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。

製品仕様

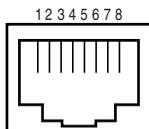
種類	Network Imager (ネットワークイメジャー)		
LANインターフェース部	準拠規格	IEEE802.3 (10Base-T)	
		IEEE802.3u (100Base-TX)	
	データ転送速度	10Mbps/100Mbps	
	データ転送モード	半2重/全2重	
	コネクタ形状	8ピンモジュラ (RJ-45)	
ネットワークプロトコル	TCP/IP 仕様	TCP/IP	
シリアルインターフェース部	インターフェース	RS-232C	
	通信速度	0.3/1.2/2.4/4.8/9.6/19.2/28.8/57.6/115.2 Kbps	
	フロー制御方式	ハードウェアフロー制御 (RTS/CTS, Xon/Xoff)	
	パリティチェック	奇数/偶数	
	コネクタ形状	Dsub 9ピン	オス
電源	プロジェクターより供給		
消費電力	3.0 W		
本体寸法	幅137 x 高さ30 x 奥行き100 mm (突起部含まず)		
質量	155 g		
内蔵バッテリー.....	リチウム電池、型名 CR2032, 3.0V		
動作温度	5℃ ~ 35℃		
保管温度	-10℃ ~ 60℃		

* 本製品の仕様は性能改善のため、予告なく変更することがあります。

ポート仕様

LAN ポート仕様

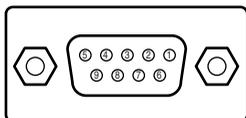
コネクタ形状 (RJ-45型 8ピンコネクタ)



ピン番号	信号名	信号機能
1	TX+	送信データ (+)
2	TX-	送信データ (-)
3	RD+	受信データ (+)
4	(未使用)	
5	(未使用)	
6	RD-	受信データ (-)
7	(未使用)	
8	(未使用)	

シリアルポート仕様

コネクタ形状 (RS-232C型 9ピンコネクタ オス)



ピン番号	信号名	信号機能
1	CD	キャリア検出
2	RXD	受信データ
3	TXD	送信データ
4	DTR	データ端末レディ
5	アース	アース
6	DSR	データセットレディ
7	RTS	送信要求
8	CTS	送信可能
9	(未使用)	

Q&A

設置／アクセス

Q コンピュータでWeb設定画面が表示されない

A 以下の可能性があります。

1. ネットワークにプロジェクターが接続されていない。
本製品のインジケータを確認してください。(☞ p.17)
・LINKインジケータ（橙）が点灯していない場合は、LANケーブルの接続を確認してください。
・ACTインジケータ（緑）が点滅していない場合は、ネットワークアドレスの設定が間違っている可能性があります。
2. プロジェクター本体のネットワークの機能が「オン」になっていない。
プロジェクター本体の設定メニューで設定します。(☞ p.20)
3. プロジェクターのネットワーク設定が間違っている。
プロジェクターのネットワーク設定を確認してください。確認の方法は、プロジェクターを起動し、メニュー項目から「ネットワーク設定」メニューを選択します。
(☞ p.20)
4. コンピュータのネットワーク設定が間違っている。
コンピュータのIPアドレスを確認ください。
5. 本製品のIPアドレスが初期設定のままになっている。(☞ p.20)
6. Web ブラウザのプロキシ設定が適切でない。(☞ 98ページ)
7. パソコンにTCP/IPプロトコルがセットアップされていない。

Q コンピュータでWeb設定画面が表示されない。原因がネットワークにあるのか、ネットワークユニットにあるのかを確認したい

A 以下の手順によって確認してください。

1. まず、プロジェクターをネットワークから切り離し、コンピュータとプロジェクターをUTPクロスケーブルで接続します。
2. ネットワークユニットとコンピュータのネットワーク設定を、例えば以下のように変更します。

(ネットワークユニットの設定)		(コンピュータの設定)	
IP アドレス	: 192.168.0.2	IP アドレス	: 192.168.0.5
サブネットマスク	: 255.255.255.0	サブネットマスク	: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	: 0.0.0.0	デフォルトゲートウェイ	: (空欄)
DNS	: 0.0.0.0	DNS	: (空欄)

3. Web ブラウザを使用し、アドレス欄にプロジェクターのIPアドレスを入力します。
(注意) ご使用のWeb ブラウザにプロキシの設定がされている場合には、プロキシサーバーを使用しないように設定を変更します。(詳細は「Web ブラウザの設定」をご覧ください。 (☞ 98ページ))
4. ログイン画面が表示される場合には、本製品は正常に機能しています。コンピュータ、または、プロジェクターのネットワークの設定が間違っている可能性があります。「ネットワークの設定」に従って再度設定をご確認ください。(☞ 20ページ)
もし、ログイン画面が表示されない場合には、本製品の取り付けが適切でない可能性があります。「セットアップ」に従って、取り付けをご確認ください。(☞ p.18 - p.19)

Q

プロジェクターにアクセスできるコンピュータを制限したい

A

1. ログイン画面のパスワード機能を利用してアクセスを制限してください。(☞ p.32)
2. ゲートウェイ (ルータ) のフィルタリング機能を利用して、アクセスできるコンピュータを制限してください。詳細な方法につきましてはネットワーク管理者へご相談ください。

Q

外部から会社構内のネットワークに設置されたプロジェクターにアクセスしたい

A

以下の方法によってアクセスできます。ただし、セキュリティの問題があるので、ネットワーク管理者に相談してください。

- 電話線による接続

(自宅または出張先などから電話回線を通じて会社のネットワークに接続する)

- 専用線による接続

(支店、本店などから専用線を通じて会社のネットワークに接続する)

- インターネット接続

(自宅、出張先、支店などからインターネットを介して会社のネットワークに接続する)

Q

IPアドレスの取得にDHCP/BOOTPサーバーを利用しています、このようなネットワーク環境でもネットワークユニットを使用できますか

A

使用できます。ただし、ネットワークユニットはDHCP/BOOTPサーバーには対応していません、必ず手動にて固定IPアドレスを設定してください。(☞ p.23)

Q ネットワークユニットを同一ネットワークに2台以上設置したい

A 1台ずつネットワークに接続して、ネットワークユニットのIPアドレスがぶつからないように、別々のIPアドレスを設定してください。(☞ p.23)
IPアドレスの設定のしかたは「ネットワークの設定」の項目を参照してください。(☞ p.20)

Q マルチコントロール可能なプロジェクターは何台までですか？

A 理論的には100台までコントロール可能ですが、実際の使用においては、ネットワーク環境に依存します。

Q ネットワークキャプチャーを開始すると、コンピュータの画面においてマウスポインタの追従性が低下した

A コンピュータのハードウェアアクセラレータのスライダを「なし」に設定することにより、マウスポインタの追従性が改善されることがあります。

パスワード/ログイン

Q パスワードを忘れてしまったら

A プロジェクター本体のメニューからネットワーク設定/Passwordを選択し、「SET」ボタンを押します。現在設定されているパスワードが表示されます。(☞ p.22)

Q Web ブラウザの「お気に入り」または「ブックマーク」に設定画面を登録したい。

A 「お気に入り」または「ブックマーク」への登録はログイン画面を使用してください。特定のページを登録すると、パスワード認証が正常に行われない場合があります。

操作

Q プロジェクターをコントロールできない

A プロジェクターがスタンバイ状態では、コントロールメニューの設定項目を操作しても、設定は有効になりません。プロジェクターの操作はプロジェクターの電源が入っている必要があります。また、マルチコントロールの対象に登録した場合でも、プロジェクターがスタンバイ状態の場合には、そのプロジェクターの設定を変えることはできません。ただし、タイマー設定は有効に機能します。

Q ブラウザの画面表示に時間がかかる

A 本製品の設定画面の表示スピードはプロジェクターとコンピュータのネットワーク環境に大きく依存します。ネットワークが混み合っている環境では表示に時間がかかることがあります。ネットワーク管理者にご相談ください。また、モード選択画面で、テキストモードを選択することで、表示は早くなります。(☞ p.28)

Q 複数のプロジェクターをネットワークに接続しているが、個々を認識するためにIPアドレス以外の名前で管理したい

A IPアドレスにニックネームをつけて管理可能です。詳細は「複数のプロジェクターの管理」の項目を参照ください。(☞ p.81)
また、DNSサーバーにプロジェクター名とIPアドレスを登録すれば、そのサーバーを参照しているどのパソコンからでも、そのニックネームでアクセス可能です。詳細はネットワーク管理者へ相談してください。(☞ p.34、p.83ページ)

Q 送信先に登録できる電子メールアドレスは何個までですか？

A 10個まで登録できます。

Q 警告メールが届かない

A E-Mail設定で登録した、メールアドレス、SMTPサーバーアドレス、が間違っていないか確認します。大規模ネットワークにおいてはセキュリティ上の理由から、構内LAN以外に設置されたSMTPサーバーを利用できないことがあります。この場合、構内に設置されたSMTPサーバーを利用ください。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。
(☞ p.35)

また、ご使用するSMTPサーバーによっては認証を必要とする場合があります。本製品はこのようなSMTPサーバーには対応していません。

その他

Q シリアルポートに接続した機器をコントロールするためのドライバーソフトウェアを開発したい

A 本製品にはドライバーソフトウェアは付属していません。外部機器をコントロールするためには、接続する機器独自に定義されたコマンドと通信条件が明確になっている必要があります。接続する機器のコマンドと通信条件が明確な場合、TELNETアプリケーションを使用してコントロールが可能です。「TELNETを使う」を参考にしてください。
(☞ p.92)

Q Telnet を使用してプロジェクターをコントロールすることは可能ですか？

A 可能です。「TELNETでプロジェクターをコントロールする」を参考にしてください。
(☞ p.94)

Q ファームウェアをバージョンアップしたい

A ファームウェアのバージョンアップは可能です。但し、専用のツールが必要ですのでお買い上げ販売店にご相談ください。ファームウェアのバージョンは、「初期設定」ページの下部に表示されていますのでご確認ください。

初期設定		1
言語	日本語	▼
モデル名	LV-7555	
パスワード	****	
温度表示	摂氏	▼

設定

4.081

Q IPアドレスの設定方法を知りたい**A** TCP/IPでネットワークを構築するときは、ネットワーク機器にIPアドレスを必ず設定します。IPアドレスをネットワーク機器に設定するときにはいくつかの規則があります。

ルール1

IPアドレスは1つのネットワークで2つ以上の機器に設定してはいけません。必ず、固有のIPアドレスを各機器に設定します。

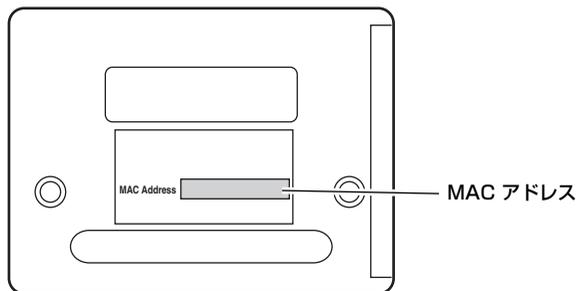
IPアドレスを192.168.x.xに設定する場合にはサブネットマスクは、例えば、255.255.255.0を設定します。

ルール2

ネットワークアドレスの開始アドレス(xxx.xxx.xxx.0)と終了アドレス(xxx.xxx.xxx.255)はネットワーク機器に割り振ってはいけません

ルール3

IPアドレスにはネットワーク番号があり、このネットワーク番号が異なると他の機器と通信が出来ません。このような場合には通常ルータなどを設置します。

Q ネットワークユニットのMACアドレスを知りたい**A** 本製品のMACアドレスはケース裏面に印刷されています。ご確認ください。

ネットワークキャプチャー

Q スクリーン上にコンピュータのスクリーン画面が表示されない

- A**
1. プロジェクターの入力モードにネットワークが選択されていることを確認して下さい。
 2. コンピュータのタスクバー上のキャプチャーアイコンが動作中を表しているか確認してください。(☞ p.63)
 3. パラメータの設定を確認してください。(☞ p.62)
キャプチャーポートとマウスポートの番号がプロジェクターのポート番号と同じに設定されているか確認して下さい。初期設定ではそれぞれ、9000番、9001番に設定されています。「無効なポート番号です」と表示される場合は、指定したポート番号は既で使用されている可能性があります。この場合は、他のポート番号を使用してください。
 4. プロジェクターのIPアドレスがコンピュータに正しく登録されていることを確認して下さい。(☞ p.65)
 5. ご使用のコンピュータにファイアウォール機能が使用されていないことを確認してください。ファイアウォールの機能によってはネットワークユニットが使用するポートを利用できないことがあります。この場合にはファイアウォールの機能を一時的にオフしてください。また、ルーター等のネットワーク中継機器にもポートの通過制限がある場合もあります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

ネットワークビューワー

Q スクリーン上にファイルサーバーからの画像が表示されない

- A**
1. プロジェクターの入力モードにネットワークが選択されていることを確認して下さい。
 2. ファイルサーバーのアカウント設定が正しいか確認してください。(☞ p.74)
 3. ファイルサーバー上の画像はFile Converter1を使用して最適化されたJPEGファイルでなければなりません。データ形式を確認してください。(☞ p.67)
 4. 画像ファイル名、プログラム名には使用できない記号があります。ファイル名を確認してください。(☞ p.73)
 5. ご使用のコンピュータにファイアウォール機能が使用されていないことを確認してください。ファイアウォールの機能によってはネットワークユニットが使用するポートを利用できないことがあります。この場合にはファイアウォールの機能を一時的にオフしてください。また、ルーター等のネットワーク中継機器にもポートの通過制限がある場合もあります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

Q プログラムファイルを新規作成できない

- A** ftpサーバーのアカウントが「書き込み許可」に設定されていることを確認してください。

File Converter 1

Q 変換可能なファイル形式はどのような種類がありますか？

A ビットマップ形式 (.bmp)、JPEG形式 (.jpg) がFile Converter 1 を使用してJPEGデータへ変換可能です。

File Converter 2

Q 変換後の画像の周囲に白い枠ができることがある

A 画像データによってはプリンタドライバの周囲マージンによる白い枠ができます。

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡します。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または下記弊社お客様相談センターにご相談ください。

■修理を依頼される前に

105ページの「Q&A」にそって故障かどうかをお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番、機番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

【修理方法】

本製品は、引取修理させていただきます。お客様先に商品をお引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償

※上記、引取修理サービスは、下記弊社お客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。

※引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

Canon

お客様相談センター（全国共通番号）



0570 - 01 - 9000 〈商品該当番号：84〉

※全国64箇所にある最寄りのアクセスポイントまでの電話料金でご利用になれます。

お電話が繋がりましたら音声ガイダンスに従って、商品該当番号〈84番〉または〈プロジェクト〉とお話してください。

【受付時間】〈平日〉9:00～12:00、13:00～17:00

〈土日祝日、年末年始および弊社休業日は休ませていただきます〉

※PHS または海外からご利用の方、ナビダイヤルをご利用いただけない方は 043-211-9348 をご利用下さい。

※音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめ御了承ください。